

目 次

平成26年度定時総会開催にあたって

会長 松永 敏子 2

平成26年度 (公社) 千葉県看護協会定時総会プログラム 4

審 議 事 項

第1号議案 (公社) 千葉県看護協会

平成25年度事業報告及び決算報告並びに監査報告について 5

第2号議案 平成26年度役員及び推薦委員の選出について 43

第3号議案 平成26年度(公社)千葉県看護協会スローガンについて 44

第4号議案 (公社) 千葉県看護協会会費規程の改正について
(年度途中に他県から移動してきた会員の年会費の免除について) 44

第5号議案 平成27年度 (公社) 日本看護協会通常総会
出席代議員・予備代議員の選出について 45

報 告 事 項

平成26年度 (公社) 千葉県看護協会事業計画及び収支予算について 48

平成25年度 理事会報告 63

平成25年度 業務運営会議報告 65

平成25年度 地区部会長会報告 66

平成25年度 施設等会員代表者会報告 67

平成25年度 職能委員会報告 68

平成25年度 日本看護協会関係報告 94

平成25年度 常任委員会及び推薦委員会報告 98

平成25年度 特別委員会報告 111

参 考 资 料

平成26年度 千葉県看護協会長表彰者 113

看護職員の表彰 117

平成25年度 事業の実施状況 118

要望書 186

平成25年度 県・市町村及び関係団体の委員等受託状況一覧 192

平成25年度 各種団体の実施する行事への後援・協賛等実績一覧 196

名誉会員 198

平成25年度 役員・委員名簿 199

平成25年度 地区・職能別入会状況・入会率 210

年度別会員数 211

地区部会区分図 212

(公社) 千葉県看護協会組織機構図 213

(公社) 千葉県看護協会組織運営図 214

(公社) 千葉県看護協会業務体制 215

看護者の倫理綱領 216

平成26年度（公社）千葉県看護協会定時総会開催にあたって

会長 松永敏子

会員の皆様にはこの1年、協会運営に対する惜しみないご協力とご支援を有難うございました。お蔭をもちまして、当初の計画に基づき各事業とも滞りなく推進することができました。心から御礼申し上げます。

さて、平成26年3月31日、所得税法等の一部を改正する法律が公布され、4月1日からは、税と社会保障制度改革が本格的に動き始めました。

そして、そのことを裏付けるように、このたびの診療報酬改定では、医療機関の機能分化・強化と連携、在宅医療の充実等が重点課題として掲げられそれらへの対応が主な内容として示されました。医療の提供体制が大きく変わるスタート年とも言えそうです。

それにつけましても永年、看護職不足に悩まされ続けてきた千葉県の将来が懸念されます。4月末に新聞各紙に掲載された2025年を見据え県が実施した「医師・看護職員長期需要調査」の結果では、将来の看護職不足数は、これまでの想定をはるかに超えた1万5千人強でした。今後、ますます進行する高齢社会における医療にしっかり対応できる条件整備が喫緊の課題となっています。従来の固定観念にとらわれない仕組みづくりを発信していく時と考えています。

看護職不足は医療機関だけでなく、福祉分野・訪問看護ステーションにも大きな影響を及ぼしています。昨年は、これに対応するため平成24年度から取り組んだ地域医療再生特例交付金による訪問看護実践センター事業の2年目であり、その柱の一つ小規模訪問看護ステーション支援事業の最終年でもありました。成果物は、千葉県看護協会版訪問看護ソフトです。二桁の訪問看護ステーションがそのソフトを活用し、記録・業務の見直し等に取り組みを始めました。また、もう一つの柱である訪問看護師人材育成事業の中では、新卒及び既卒訪問看護師が複数の県内訪問看護ステーションで育てられ、2年間の育成プログラムを終えた新卒看護師は、訪問先の利用者の方々に頼りにされるまでに大きく育ちました。3年目を迎えた本年度も、2名の新卒看護師が新たにチャレンジしてくれています。これらの取り組みについては、全国各地の関心も高く、「千葉発の取り組みが、課題満載の超高齢社会における訪問看護の体制強化に役立ってくれると嬉しい。」と思っています。

看護職不足解消に向けた方策の一つに、県内における看護師等の養成数を増やすということがあります。この4月には、新設校1校、定員増がなされた学校が1校ありました。また、近年中に定員増、あるいは新設が予定されている看護師等養成機関も複数把握されています。このように県内で看護師等の養成数が増えるということは、本当に嬉しい傾向だと感じています。

しかし今、教育の現場では実習場所の確保が大きな課題となっています。実習先の確保に苦労し、都内の施設に依存しなければならない既設の養成校もあります。学生たちが卒業後の進路を決める条件の一つが実習先での体験であることは周知のことです。実習先の整備を整え、貴重な人材が他県に流れてしまう事のないように、現状を改善していかなければなりません。臨床と教育とが一体となった教育環境づくりが、看護職不足という状況から抜け出すための切り札になるのだと考えています。

幸いなことに、県では昨年から看護学生実習病院確保事業を創設しました。また、実習指導者養成講習会については、昨年から県の委託を受け当協会が開催することになりました。それを機に、定員を従来の2倍近い数とし、多くの受講生を受け入れられるようにしました。これらも活用し、多くの施設が実習施設としての条件を整えていただけることを期待したいと思います。もちろん「看護職が働き続けられる職場環境づくり・・・WL B推進事業」への取り組みも欠かすことができません。

本年度は、当協会が公益社団法人となって3年目という区切りの年になります。当協会の設置目的「・・・看護を通じて県民の健康な生活の実現に貢献する。」を果たすためにも、看護職が医療の担い手として誇りを持ち安心して働き続けられる環境づくり、看護職が元気になることを最大目標にして力を尽くしたいと思います。

新たな年度、会員の皆様の更なるご協力とご支援をよろしくお願いいたします。

平成26年度 公益社団法人千葉県看護協会定時総会 プロ グ ラ ム

日 時 平成26年6月18日(水) 9:00~16:00

場 所 ホテルポートプラザちば

8:30	受付	
9:00	オリエンテーション	
9:10	開会	
	会長挨拶	
	(公社) 千葉県看護協会長表彰	
	(公社) 千葉県看護協会長表彰受賞者謝辞	
	第32回千葉県看護研究学会優秀論文表彰	
	受賞者紹介	
	叙勲	
	千葉県看護功労者知事表彰	
	来賓祝辞・祝電披露	
9:50	議長団・議事録署名人等選出	
10:00	審議事項	
	第1号議案 平成25年度 事業報告及び決算報告並びに監査報告について	
	第2号議案 平成26年度 役員及び推薦委員の選出について	
	第3号議案 平成26年度 (公社) 千葉県看護協会スローガンについて	
	第4号議案 (公社) 千葉県看護協会会費規程の改正について	
	第5号議案 平成27年度 (公社) 日本看護協会通常総会出席代議員・ 予備代議員の選出について	
11:30	選挙	平成26年度 改選役員及び推薦委員の選出
12:00	— 昼食 —	
12:45	報告事項	平成26年度 (公社) 千葉県看護協会事業計画・予算等について 平成25年度 理事会、職能委員会、常任委員会等の報告について
14:00	平成26年度	役員・推薦委員の選挙結果報告及び承認について
14:15	新旧役員・委員の紹介	(新旧役員等)
14:30	講演	「心が元気になる」 講師 テルモ株式会社 取締役副社長執行役員 松村 啓史 氏
16:00	総会閉会	

第1号議案 (公社)千葉県看護協会 平成25年度事業報告及び決算報告並びに監査報告について

平成25年度事業報告

項目	実施計画 (新規事業: ゴシック)	事業実施事項 (新規追加事業は◎ゴシック体で表示、再掲については記載を省略)						
① 教育・研修等による看護の質の向上に関する事業	1. 生涯教育 (1)生涯教育 61コース ①資格認定教育 6コース ・認定看護管理者制度教育課程 (ファースト・セカンドレベル教育課程) ・医療安全管理者養成研修 ・心肺蘇生法トレーニングコース (BLS) ・看護教員養成課程 ・実習指導者講習会 (2)ステップアップ教育 26コース ・段階別研修(新人、2年目、中堅、管理者等) ・領域別研修(感染、災害、がん、認知症等) ③看護実践教育 29コース ・看護補助者教育責任者研修	(1)生涯教育 計63コース (60コース+追加3コース) 91回 512日 7,823名 ①資格認定教育 6コース 9回 277日 572名 ・認定看護管理者制度教育課程 (内訳) ファーストレベル教育課程 1コース 1回 28日 95名 セカンドレベル教育課程 1コース 1回 36日 30名 ・医療安全管理者養成研修 1コース 1回 7日 107名 ・心肺蘇生法トレーニングコース (BLS) 1コース 4回 4日 224名 ・看護教員養成課程 1コース 1回 162日 37名 ・実習指導者講習会 1コース 1回 40日 79名 ②ステップアップ教育 26コース 44回 158日 3,695名 ・段階別研修(新人、2年目、中堅、管理者等) 16コース 33回 99日 2,787名 ・領域別研修(感染、災害、がん、認知症等) 10コース 11回 59日 908名 ③看護実践教育 28コース 34回 73日 2,958名 ・看護補助者教育責任者研修 1コース 1回 1日 87名 ④その他追加研修 3コース 4回 4日 598名 (精神・身体疾患併発患者診療機能支援事業フォローアップ研修、看護必要度ーステップアップ研修・評価者院内指導者研修、平成26年度社会保険診療報酬改定説明会)						
	(2)千葉県委託研修(再掲) 21コース ①看護教員養成課程 ②実習指導者講習会 ③地域・在宅看護実習指導者講習会 ④新人看護職員研修(看護師・助産師・教育責任者・実地指導者) ⑤中堅看護職員スキルアップ研修(感染症管理・がん看護) ⑥看護教員継続研修(教育方法・新人・中堅) ⑦管理者クラス保健師研修会 ⑧助産外来講座 ⑨退院支援研修 ⑩認知症看護研修(初心者・中堅・指導者) ⑪自殺予防対策研修(うつの早期発見・うつ傾向患者の関わり方) ⑫精神・身体併発患者診療機能支援事業	(2)千葉県委託研修(再掲) 21コース ①看護教員養成課程 ②実習指導者講習会 ③地域・在宅看護実習指導者講習会 ④新人看護職員研修(看護師・助産師・教育責任者・実地指導者) ⑤中堅看護職員スキルアップ研修(感染症管理・がん看護) ⑥看護教員継続研修(教育方法・新人・中堅) ⑦管理者クラス保健師研修会 ⑧助産外来講座 ⑨退院支援研修 ⑩認知症看護研修(初心者・中堅・指導者) ⑪自殺予防対策研修(うつの早期発見・うつ傾向患者の関わり方) 2日間開催、 ⑫精神・身体併発患者診療機能支援事業						
	(3)委員会の開催 ①教育委員会 年6回 ②認定看護管理者制度教育課程運営委員会 年3回 ③認知症専門職研修体系構築事業実施検討委員会 年1回 ④精神・身体疾患併発患者診療機能支援事業実施検討委員会 年3回 ⑤助産師出向支援モデル事業協議会 年2回	(3)委員会の開催 ①教育委員会 6回 (5/22, 7/29, 9/26, 11/28, 1/23, 2/27) ②認定看護管理者制度教育課程運営委員会 3回 (7/30, 9/18, 1/17) ③認知症専門職研修体系構築事業実施検討委員会 1回 (2/24) ④精神・身体疾患併発患者診療機能支援事業 2回 (4/25, 3/26) ⑤助産師出向支援モデル事業協議会開催 (再掲) 2回 (1/13, 2/27)						
	2. 助産師出向支援モデル事業	2. 助産師出向支援モデル事業 (日看協委託の事業) 目的: 安全・安心な妊娠・出産・育児支援のため、助産師の実践能力強化、助産師学生の臨地実習施設の確保のための指導力強化、助産師偏在是正を図る。						
	(1)協議会の設置 ・助産師出向支援モデル事業協議会開催 (再掲) 年2回 (2)事業推進のための実態把握	(1)協議会の設置 ・助産師出向支援モデル事業協議会開催 (再掲) 年2回 (1/13, 2/27) (2)事業推進のための実態把握 ・助産師出向に関する意向調査実施 分娩を取り扱う会員施設(助産院除く)及び診療所、助産師会員のいる161施設に実施 実施期間: 2月7日~2月20日 回収率32.8%						
	3. 千葉県看護研究学会 (1)第32回千葉県看護研究学会	(1)第32回千葉県看護研究学会 日 時: 平成26年2月25日 (火) 9:35~15:50 場 所: アパホテル＆リゾート東京ベイ幕張ホール テーマ: 生活に目を向けて 笑顔がうまれつながる看護 内 容: 特別講演 「対人ストレス対処法 毎日を笑顔でいるために」 講師 情動認知行動療法研究所所長 筑波大学名誉教授 宗像恒次 一般演題 36題 (口演・示説) 看護研究支援 特設 必見!! その人らしい生活を支える訪問看護とは 参加者: 合計358名						
	(2)看護研究学会への取組み支援 ①初めて取り組む看護研究Ⅰ・Ⅱ(再掲) ②看護研究個別支援(再掲)	(2)看護研究学会への取組み支援 ①初めて取り組む看護研究Ⅰ (基礎編) 1回 3日 165名 初めて取り組む看護研究Ⅱ (活用編) 1回 2日 24名 ②看護研究個別支援(再掲) 6組						
	3. 図書室の管理運営 (1)図書の管理運営	(1)図書の管理運営 購入図書 23冊 寄贈図書 100冊 購入雑誌 33誌 寄贈雑誌 11誌 ホームページからの情報提供 関係機関から的情報をホームページに掲載 図書室専用ページアクセス件数 3,481件						
	(2)資料・文献検索の支援	(2)資料・文献検索の支援 文献検索等相談件数 34件						

項目	実施計画（新規事業：ゴシック）	事業実施事項（新規追加事業は◎ゴシック体で表示、再掲については記載を省略）
② 看護師等の労働環境等の改善、就業促進等による看護師等の人材確保・定着に関する事業	<p>1. 第3次千葉県看護職定着・確保推進計画の普及・推進</p> <p>(1) 看護職定着確保対策協議会の開催 年1回</p> <p>(2) 看護職定着確保対策事業の普及啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ①「看護しば」、ホームページ等による広報 ②各種協会事業を通した普及 <p>(3) 労働環境改善委員会の開催 年6回</p> <p>2. 看護職の労働環境の向上</p> <p>(1) ワーク・ライフ・バランスの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ①WLB推進部会の開催 年6回 ②WLBワークショップ事業 <ul style="list-style-type: none"> ・事前研修会の開催 ・WLBワークショップの開催 ・WLBワークショップ、フォローアップの開催 ・情報交換会の開催 <p>③評価会議の開催（取組3年目施設）</p> <p>④インデックス調査 (調査のみ参加施設等の支援)</p> <p>(2) 就労環境改善事業(千葉県委託)</p> <ul style="list-style-type: none"> ①就労環境改善事業Ⅰ ②就労環境改善事業Ⅱ ③総合相談窓口設置事業 ④アドバイザー派遣事業 <p>3. 看護進路相談事業</p> <p>(1) 出前授業（いのちの大切さ教育）</p> <p>(2) ふれあい看護体験事業</p> <p>(3) 進路相談事業</p> <p>(4) 看護学生の職場選択の支援</p> <p>4. ナースセンター事業(千葉県委託)</p> <p>(1) 看護職の定着確保に係る調査</p> <p>①看護職の定着確保動向調査</p>	<p>(1) 看護職定着確保対策協議会の開催 年1回 (3/24)</p> <p>(2) 看護職定着確保対策事業の普及啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ①「看護しば」、ホームページ等による広報 ②各種協会事業を通した普及 <p>(3) 労働環境改善委員会 6回 (6/27、8/28、11/13、12/4、2/12、3/12)</p> <p>(1) ワーク・ライフ・バランスの推進</p> <p>①WLB推進部会の開催 5回 (9/4、9/13、11/19、12/18、1/17)</p> <p>②WLBワークショップ事業 <ul style="list-style-type: none"> ・事前研修会の開催 (7/31 新規6施設 参加者：24名) ・WLBワークショップの開催 <ul style="list-style-type: none"> 日時：9月12（木）・13（金）9：30～16：00 千葉県看護会館 内容：講演、ワークショップ（アクションプランの作成） 参加者：新規4施設、継続4施設、傍聴者38名 ・WLB推進フォローアップワークショップ <ul style="list-style-type: none"> 日時：1月17日（金） 内容：新規4施設の4か月間の取り組み状況報告と2年目施設の1年間の取り組み報告 参加者：新規4施設、継続4施設、傍聴者45名 </p> <p>・情報交換会の開催 <ul style="list-style-type: none"> ①日時：7月19日（金）16：00～17：00 7施設参加 ②日時：3月13日（木）13：30～15：30 11施設参加 </p> <p>③WLB取組3年目施設の評価発表</p> <p>日時：12月18日（水）13：30～15：30 千葉県看護会館</p> <p>内容：前回のインデックス調査と比較し現在の進捗状況を発表</p> <p>参加施設 4施設</p> <p>④インデックス調査のみ参加施設への支援</p> <p>事業説明のための訪問及び推進のための電話訪問</p> <p>(2) 就労環境改善事業(千葉県委託)</p> <ul style="list-style-type: none"> ①就労環境改善事業Ⅰ（「多様な勤務形態に関する啓発、導入等」に係る研修） 9件 ②就労環境改善事業Ⅱ（「雇用の質の向上のための取組み等」に係る研修） 9件 ③総合相談窓口設置事業 148件 ④アドバイザー派遣事業 25件 <p>(1) 出前授業（いのちの大切さ教育）</p> <p>①出前授業</p> <p>目的：小学校・中学校・高等学校に看護職が出席して生徒にいのちの大切さや看護について聞く機会を提供する</p> <p>内容：いのちの大切さについて、看護について等</p> <p>実施数：11校（高校3校 中学校8校）</p> <p>参加者：2,293名</p> <p>②出前授業・職場体験等に関する実態調査</p> <p>目的：小学校・中学校・高等学校の生徒等に実施している出前授業及び職場体験等の実施状況の把握</p> <p>対象：①県内278病院（回答数175病院・回答率62.9%） ②県内39看護師等学校養成所（回答数24校・回答率61.5%）</p> <p>時期：平成25年9月20日～10月4日</p> <p>調査結果：①出前授業実施(26病院、12校・6,439名) ②職場体験実施(124病院、2校・1,295名) ③インターネット実施(55病院、1校・800名) ④ふれあい看護体験実施(26病院、3校・919名)</p> <p>(2) ふれあい看護体験事業</p> <p>目的：県民が看護師の看護を実践している場面の見学や体験を通して看護を実感することにより、看護について関心や理解を深めてもらう</p> <p>協力施設：100施設、実施施設：81施設</p> <p>参加者：736名（小学生11名、中学生22名、高校生664名、大学生1名、社会人38名）</p> <p>(3) 進路相談事業 134回</p> <p>参加者1,617名（学校主催、面接、電話、メール、FAX含む） 千葉県高等学校教育研究会進路指導部会協議会 (2/6)</p> <p>(4) 看護学生の職場選択の支援</p> <p>(1) 看護職の定着確保に係る調査</p> <p>①看護職の定着確保動向調査</p> <p>対象：・看護管理者 278施設（回答数168名・回答率60.4%） ・未就業求職者 179名（回答数80名・回答率44.7%） ・フレッシュセミナー受講者 1,163名（回答数1,011名・回答率86.9%）</p> <p>調査時期：・看護管理者、未就業求職者 平成25年9月5日～9月20日 ・フレッシュセミナー受講者 平成25年9月24、25、27、30日、10月1、2、3日</p> <p>調査結果：・離職率 常勤看護職員11.4 新卒看護職員8.8 ・離職理由：第1位出産・育児・子どものため 第2位人間関係 第3位転居、配偶者の転勤、看護内容への不満</p>

項目	実施計画（新規事業：ゴシック）	事業実施事項（新規追加事業は◎ゴシック体で表示、再掲については記載を省略）
② 看護師等の労働環境等の改善、就業促進等による看護師等の人材確保・定着に関する事業	<p>②看護職の再就業者実態調査</p> <p>(2)看護職の無料職業紹介</p> <p>(3)未就業看護職の就業支援 ①未就業看護職の掘り起こし（市町村・地区部会との協働） ②看護職再就業講習会の開催</p> <p>(2)看護職の無料職業紹介 新規求人件数：1,923件 新規求職者数：1,205件（うち未就業522件） 就職者数：436件（うち未就業129件）</p> <p>(3)未就業看護職の就業支援 ①未就業看護職の掘り起こし（市町村・地区部会との協働） ②看護職再就業講習会の開催 ア. 看護職再就業講習会 参加者：7名 実施施設：5月：さんむ医療センター、10月：化学療法研究所附属病院、帝京大学ちば総合医療センター、匝瑳市民病院、3月小張総合病院、山王病院 就業者数：3名</p> <p>イ. ナースセンターにおける看護基礎技術講習会（試行） 開催日：1/9、1/16、1/23、1/29、2/13、2/20、2/27、3/3、3/5、3/7、3/11（計11回） 参加者：22名 就業者数：7名</p> <p>③合同就職説明会の開催</p> <p>④看護職への求人情報の提供</p> <p>(4)看護師等就業協力員事業 ①就業協力員部会の開催 ②就業協力員訪問支援事業（仮称）</p> <p>(5)就業看護職への相談支援 (6)ナースセンター事業の広報</p> <p>(7)ナースセンター運営委員会の開催 年1回 (8)関係機関との連携（日本看護協会、中央ナースセンター、公共職業安定所等）</p> <p>(9)「看護の日」「看護週間」事業（再掲） (10)看護進路相談事業（再掲） (11)ナースセンターの維持管理</p> <p>5. 医療・看護における安全対策 (1)医療・看護に関する相談支援、情報提供</p> <p>(2)医療安全推進週間の推進 ①医療安全大会の開催</p>	<p>◎看護職の再就業者実態調査 148名（回答数83名・回答率56.1%） 対象：平成24年度千葉県ナースセンター登録の再就業者のうち千葉県在住、かつ臨時雇用にて就業した者を除く148名 調査時期：平成25年9月6日～9月25日 調査結果： ・就業時の就業状況：未就業（61.4%）、就業（転職）（37.3%）、無回答（1.2%） ・就業先の施設種別：未就業者（病院53.6%、診療所14.3%）、就業（転職）（病院28.6%、訪問看護ステーション35.7%） ・雇用形態：未就業者（非常勤職員50.0%、正職員39.3%、その他10.7%）、就業（転職）（正職員57.1%、非常勤職員42.9%）</p> <p>(2)看護職の無料職業紹介 新規求人件数：1,923件 新規求職者数：1,205件（うち未就業522件） 就職者数：436件（うち未就業129件）</p> <p>(3)未就業看護職の就業支援 ①未就業看護職の掘り起こし（市町村・地区部会との協働） ②看護職再就業講習会の開催 ア. 看護職再就業講習会 参加者：7名 実施施設：5月：さんむ医療センター、10月：化学療法研究所附属病院、帝京大学ちば総合医療センター、匝瑳市民病院、3月小張総合病院、山王病院 就業者数：3名</p> <p>イ. ナースセンターにおける看護基礎技術講習会（試行） 開催日：1/9、1/16、1/23、1/29、2/13、2/20、2/27、3/3、3/5、3/7、3/11（計11回） 参加者：22名 就業者数：7名</p> <p>③合同就職説明会の開催 船橋地区：平成25年12月19日（木）（船橋市共催） 会場：船橋市役所 参加施設：15施設 参加者：29名 就業者数：8名 山武地区：平成26年2月6日（木）（山武地区と協働） 会場：城西国際大学看護学部 参加施設：9施設 参加者：15名 就業者数：2名</p> <p>④看護職への求人情報の提供（年4回発行） 発行日：第1回 平成25年6月12日、第2回 平成25年9月17日、第3回 平成25年12月5日、第4回 平成26年2月20日 発行数：各500部 配布先：未就業求職者、ハローワーク等関係機関、来所者等</p> <p>(4)看護師等就業協力員事業 ①就業協力員部会の開催 年2回（7/4、10/10） ②看護師等就業協力員のあり方検討会（12/20、2/5） ③ハローワークにおける就業相談（試行）（11/1、12/20打ち合わせ） 実施日：第1回平成26年1月22日、第2回平成26年2月19日、第3回平成26年3月14日 実施場所：ハローワークちば 相談者数：4名</p> <p>(5)就業看護職への相談支援 (6)ナースセンター事業の広報 リーフレット、ポスターの増刷 リーフレット配布：県内病院、ハローワーク等関係機関、求人施設、就職者等 ポスター掲示：県内病院、ハローワーク等関係機関、ショッピングモール等</p> <p>(7)ナースセンター運営委員会の開催 年1回（9/6） (8)関係機関との連携（日本看護協会、中央ナースセンター、公共職業安定所等） ①ナースセンター担当者会議 年1回（9/9） ②都道府県ナースセンター就業相談員研修 年1回（9/10） ③福祉のしごと・inちば 年2回（7/21、11/16） ④福祉人材就職面接会～介護就職デイ～ 年1回（11/15） (9)「看護の日」「看護週間」事業（再掲） (10)看護進路相談事業（再掲） (11)ナースセンターの維持管理</p> <p>(1)医療・看護に関する相談支援 ①相談件数4件（うち1件は弁護士に対応依頼） 相談内容：資格勧誘への対処方法等 ②顧問弁護士による看護ちばへの情報提供：4月号（患者情報の漏えい）、7月号（静脈注射による神経損傷） 10月号（精神科における自殺事故と看護師の過失）、1月号（浣腸時の体位選択と看護師の過失） ③医療安全情報の掲載及びホームページ内医療安全情報の追加（医療安全情報収集の充実・関連情報のリンク添付）</p> <p>(2)医療安全推進週間の推進 ①第9回医療安全大会の開催 日時 11/4（月） 11:00～16:00 場所 幕張メッセ（国際会議室、中会議室201） テーマ 「多職種連携で前進する医療安全」 内容 (1)シンポジウム 「医療安全管理の現状と多職種で取り組む医療安全の課題と展望」 ①医療安全管理に関する調査報告 ②各職種からの提言及び意見交換 ・シンポジスト：医師、薬剤師、看護師、事務職、行政等の各職種の代表6名 (2)特別講演 「多職種連携で前進する医療安全～今何をすべきか？守りの美学～」 講師 順天堂大学医学部総合診療科・病院管理学研究室 教授 小林弘幸</p>

項目	実施計画 (新規事業: ゴシック)	事業実施事項 (新規追加事業は◎ゴシック体で表示、再掲については記載を省略)
② 就業促進等による看護師等の労働環境等の改善、人材確保・定着に関する事業	②医療安全推進の普及啓発 ・医療安全に関する標語の募集	(3) インシデント報告システムの展示及び説明 (6社) 参加人数 450名 (看護職304名、他職種73名、関係者73名) ②医療安全推進の普及啓発 ・医療安全に関する標語の募集 応募 589作品 (82施設) 優秀作品:「他職種から多職種へ、皆で取り組む安全対策」 千葉県こども病院 河野司・五十嵐真澄 佳作:「多職種が心をつないで事故防止」 さんむ医療センター 北田美弥子 「多職種の気持ちつなげて事故防止」 みつわ台総合病院 西3病棟一同 ・ポスター等による普及啓発 優秀賞受賞施設職員をモデルとしたポスター450枚を作成し、県内病院及び会員施設へ配布
	(3) 医療安全管理者の育成	(3) 医療安全管理者の育成 ・医療安全管理者養成研修会(再掲) (9/9~12、9/18~20)修了者109名 ・医療安全担当者交流会の開催 日 時: 1月28日 (火) 10:00~16:30 場 所: 千葉県看護会館 大研修室 内 容: 講演「医療安全推進のための標準テキスト」をひもとく ～現場で活かせる活用法～ 講師 全国社会保険協会連合会 患者安全推進室長 遠田光子 グループワーク 「県内病院における医療安全管理体制の現状調査結果による課題と自施設の課題について検討・発表」 参加人数: 91名 (参加者84名、関係者7名)
	(4) 関係機関等との連携促進	(4) 関係機関との連携促進 ・拡大医療安全推進会議 (日本看護協会主催、11/14) ・医療の質・安全学会及び医療安全全国フォーラム (11/22)
	(5) 医療安全委員会の開催 年6回	(5) 医療安全委員会の開催 7回 (5/4、6/11、7/9、9/10、10/8、12/10、2/4)
	1. 訪問看護推進事業 (千葉県委託) (1) 訪問看護推進協議会の開催	(1) 訪問看護推進協議会 (委員13名) ※訪問看護実践センター事業企画評価委員会と併設開催 開催日: 1月15日 (水)、3月26日 (水) 議事: (第1回) ・訪問看護実践センター事業進捗状況について ・訪問看護推進事業進捗状況について (第2回) ・平成25年度事業報告及び評価について ・平成26年度事業計画について
③ 訪問看護の推進に関する事業	(2) 訪問看護に関する総合相談の開催	(2) 訪問看護に関する総合相談の開催 相談日: 月~金 9:00~17:00 相談件数: 100件 相談者: 看護師、介護支援専門員等専門職 (訪問看護サービスに関すること) 県民 (介護に関すること)
	(3) 訪問看護の普及啓発 ①地域連携フォーラムの開催 (地区別開催)	(3) 訪問看護の普及啓発 ①地域連携フォーラムの開催 (地区別開催) 日 時: 3月9日 (日) 13:30~16:30 場 所: 君津中央病院4階講堂 対象: 君津保健医療圏内の病院等・訪問看護ステーションに在勤の看護職 テーマ: 「看看連携～一緒に患者さんの退院後の生活を考えてみませんか～」 内 容: 訪問看護認定看護師による講演、グループディスカッション 参加者: 46名
	②リーフレットの配布	②リーフレットの配布 ・県民向けリーフレット 看護の日イベント (中央・11地区) で県民向けリーフレット 6,000部配布 ・専門職向けリーフレット 「訪問看護事業所一覧」作成にあたり、調査実施 回収状況: 対象数244施設 回収236施設 県内236事業所の情報を掲載した「訪問看護事業所一覧」の作成、配布
	2. 訪問看護実践センター事業 (千葉県委託・補助事業) (地域医療再生計画事業)	③第32回千葉県看護研究学会での訪問看護に関するポスター展示・説明 日 時: 2月25日 (火) 13:00~15:30 場 所: 東京ベイ幕張ホール テーマ: 「必見!!～その人らしい生活を支える訪問看護とは～」 来場者: 130名
	(1) 検討委員会・専門部会の開催	(1) 検討委員会・専門部会の開催 ①企画評価委員会 (委員13名) 2回 開催日: 1月15日 (水)、3月26日 (水) 議事: (第1回) ・訪問看護実践センター事業進捗状況について ・訪問看護推進事業進捗状況について (第2回) ・平成25年度事業評価について ・平成26年度事業計画について ②人材育成専門部会 (委員11名) 2回 開催日: 10月22日 (火)、3月18日 (火) 議事: (第1回) ・平成25年度事業進捗状況について ・新卒者等訪問看護師育成プログラム (2年目) について ・潜在看護師の育成到達度評価について (第2回) ・平成25年度事業評価について ・平成26年度事業計画について

項目	実施計画 (新規事業: ゴシック)	事業実施事項 (新規追加事業は◎ゴシック体で表示、再掲については記載を省略)
(3) 訪問看護の推進に関する事業	<p>(2)人材の育成 ①新人看護師等育成プログラムの構築(2年目) ②新人看護師等採用訪問看護ステーションへの支援 ③研修会の開催</p> <p>(3)小規模訪問看護ステーションの支援 ①IT化・ネットワーク化の促進</p>	<p>③小規模訪問看護ステーションの支援専門部会 (委員9名) 3回 開催日: 4月24日 (水)、10月21日 (月)、3月19日 (木) 議事: (第1回) ・平成25年度事業計画について (第2回) ・IT化等推進事業、ネットワークの構築、広報戦略について (第3回) ・平成25年度の進捗状況について ・「千葉県看護協会版訪問看護ソフト」の評価について ・訪問看護実践センターシステムについて ・平成25年度事業評価について ・平成26年度事業計画について</p> <p>(2)人材の育成 ①新人看護師等育成プログラムの構築(2年目) 「新卒者等訪問看護師育成プログラム学習支援マニュアル」(暫定版 千葉大学看護学研究科と共同開発)作成 活用方法: 県内看護系大学等教育機関、訪問看護ステーションや研修会、訪問看護師の育成フォーラム等で配布 「新卒者等訪問看護師育成プログラム～地域で育てよう～」 完成、配布 ②新人看護師等採用訪問看護ステーションへの支援 ・支援修了者: 4名 新卒者1名(2年目) 潜在看護師等3名 3月24日 修了式 (修了証交付3名: 新卒者1名・潜在看護師等2名) ・支援継続: 4名 新卒者1名(1年目) 潜在看護師等3名 2ヶ所の訪問看護ステーション ・支援内容: プログラムに沿った支援・評価を実施 カンファレンス68回、学習支援者会議49回 看護技術研修 17回 (闊連図指導4回、膀胱留置カテーテル2回、吸引3回、栄養管理回、採血1回、排便1回、制度について3回) 事例検討会 9回 訪問看護実践研修10コース (うち外部研修6コース) 実務研修4ヶ所 (千葉大学医学部附属病院、黒砂台診療所、なごみの家、ふたわ訪問看護ステーション) ③研修会の開催 ア 訪問看護師養成講習会 研修期間: 7月～平成26年2月 受講者: 41名 研修内容: 訪問看護eラーニング (7月～11月)、開講式 (7/3) 講義1「訪問看護展開論」9/28 (※公開研修としても実施 受講者47名) 講義2「スキンケア」12/7 講義3「穏やかな看取りへのケア」2/3または2/4 (教育部主催研修への受講) 実習2日間 (1/14～2/14) 閉講式 (2/28) 全課程修了者31名 イ 訪問看護師スキルアップ研修 日 時: 6月1日 (土) 9:30～16:30 研修内容: 「褥瘡のケア」講師 社会保険船橋中央病院 皮膚・排泄ケア認定看護師 茅野昌子氏 受講者数: 53名 日 時: 12月21日 (土) 9:00～17:00、1月18日 (土) 9:00～16:00 研修内容: 「緩和ケアに関わる研修」ELNEC-Jコアカリキュラム看護師教育プログラム 講師 千葉大学大学院看護学研究科 特任教授 長江弘子氏 他講師13名 受講者数: 43名 ウ 管理研修 日 時: 6月9日 (日) 9:30～16:30 研修内容: 「訪問看護の質について考える」 講師 千葉大学大学院看護学研究科 特任教授 長江弘子氏 「訪問看護ステーション管理者のための経営分析入門」 講師 株式会社日本経営エスディサポート 主任研究員 大西大輔氏 受講者数: 44名 日 時: 2月15日 (土) 9:30～16:30 研修内容: 「新任・新卒訪問看護師育成指導者研修会」 講師 千葉大学大学院看護学研究科 特任教授 長江弘子氏 千葉大学大学院看護学研究科 辻村真由子 氏 受講者数: 15名 エ 退院支援研修(再掲) 研修期間: 講義 7/17、7/24、9/6 実習 8月のうち1日 研修内容: 「退院支援に関する基礎知識」 講師 順天堂大学医療看護学部 専任准教授 樋口キエ子氏 「ステーション・病院の立場から」 講師 カンナ訪問看護ステーション 所長 柴崎ゆかり氏 千葉大学医学部附属病院 地域医療連携部 津野祥子氏 「ケアプランを作成するケアマネジャーの立場から」 講師 ちば訪問看護ステーション ケアマネージャー 鈴木 薫氏 「退院時共同カンファレンスについて」 講師 社会保険船橋中央病院 退院調整者 伊藤孝行氏 千葉メディカルセンター 地域医療連携室 神谷明美氏 受講者数: 77名 (3)小規模訪問看護ステーションの支援 ①IT化・ネットワーク化の促進 ア『千葉県看護協会版訪問看護ソフト』システム開発 ・委託先: いきいきメディケアサポート(株) ・仕様打合せ 23回 ・仕様確定 訪問看護記録I (基本情報)、訪問看護記録II (日々の記録) 訪問看護計画書、訪問看護報告書、情報提供書、業務管理日誌 事業所情報、スタッフ一覧、業務帳票、管理統計、経営評価、満足度調査 ・進捗報告会 2回 (7/17、9/25)</p>

項目	実施計画 (新規事業: ゴシック)	事業実施事項 (新規追加事業は◎ゴシック体で表示、再掲については記載を省略)
③ 訪問看護の推進に関する事業	<p>②ステーションの管理運営に関する支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営診断支援 <p>②ステーションの管理運営に関する支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 経営診断支援 <p>(ア) 訪問看護ステーション経営実態調査</p> <ul style="list-style-type: none"> 委託先：(株)日本経営エスティサポート ・ヒヤリングの実施 1回 (4/15) <ul style="list-style-type: none"> 対象 4事業所 (調査実施前に経営母体の異なる訪問看護ステーションの所長) ・経営実態調査説明会 (人材育成「管理研修」と同日開催) <ul style="list-style-type: none"> 日 時：6月9日 (日) 16:00～16:30 参加者：44名 ・経営実態調査の実施 <ul style="list-style-type: none"> 時 期：6月15日～8月15日 対 象：県内訪問看護ステーション231事業所 回 収：81事業所 (回収率35.1%) 調査結果：・看護職員1人1日当たりの訪問数が増やせない事業所は赤字傾向にあるとともに、結果として、人件費の負担が相対的に大きくなる状況が窺える。 <ul style="list-style-type: none"> ・「看護職員1人1日当たり訪問数」「利益率」とともに、規模の拡大につれて、「看護職員1人1日当たり訪問数」「利益率」の差が大きくなる傾向が見られる。 ・地方部は都市部と比較して、最長移動時間・移動距離が長いことにより、看護職員1人1日当たり訪問数が少なくなり、結果として「利益率」が低くなる。 ・経営実態調査報告会の開催 <ul style="list-style-type: none"> 日 時：3月1日 (土) 13:00～16:45 対 象：訪問看護ステーション所長、職員等 内 容：報告「訪問看護ステーション経営実態調査の結果」 <ul style="list-style-type: none"> 日本経営グループ メディキヤスト(株) メディプラザ統括マネージャー 大西大輔 氏 講演「期待される訪問看護ステーション」 公益社団法人 日本看護協会 常任理事 斎藤訓子 氏 参加者：19名 <p>(イ) 経営評価システムに関する仕様打合せ 2回 (6/18、10/9) <ul style="list-style-type: none"> いきいきメディア(株)、(株)日本経営エスティ、協会の3者で実施 </p> <p>イ サテライトの設置支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 『サテライト開設・運営マニュアル』作成、配布 	

項目	実施計画（新規事業：ゴシック）	事業実施事項（新規追加事業は◎ゴシック体で表示、再掲については記載を省略）
③ 訪問看護の推進に関する事業	(4)訪問看護に関する調査研究 (4)訪問看護に関する調査研究 ①訪問看護ステーションの意向調査 調査目的：訪問看護実践センター事業に参画する意向等について把握する 実施時期：6月 対象：県内訪問看護ステーション231事業所 調査結果：回収状況 対象数231施設 回収120施設（回収率51.9%） • 平成26年度の訪問看護師採用予定 採用する78事業所（65%） • 採用する際の訪問看護経験 新卒15事業所（19.2%）、潜在37事業所（47.4%） • 人材育成のための体制整備 プリセプター配置32事業所（26.7%） • 千葉県看護協会版訪問看護ソフト使用の意向 使用したい6事業所（5%） 検討したい28事業所（23.3%） 詳細を聞きたい36事業所（30%） ②人材育成事業に関する普及啓発 ア 事業説明 4回（5/19、30、6/25、3/5） 千葉県訪問看護ステーション連絡協議会総会、千葉県看護学校協議会代表者会議 千葉県立野田看護専門学校、千葉県立保健医療大学（学生向け施設説明会） イ 訪問看護師育成フォーラムの開催 日時：11月30日（土）13:30～17:00 内容：基調講演「魅力ある訪問看護を一緒に」 在宅看護研究センターLLP 代表 村松静子 氏 実践報告・意見交換 「私たちは訪問看護師として頑張っています」 参加者：100名 （看護学生22名 教員19名 訪問看護師42名 他9名 事務局8名） ウ 機関誌等への掲載 • 看護しば4月号、10月号への記事掲載 県内の全訪問看護ステーションへ送付（10月号） • 訪問看護と介護4月号、8月号（医学書院）への記事掲載 • 看護教育10月号（医学書院）への記事掲載 • 週刊医学界新聞3月24日発行号（医学書院）への記事掲載 エ 平成25年度看護職合同就職説明会・船橋でのPR（船橋市と共に） 日時：12月19日（木）13:30～15:30 内容：船橋市内の訪問看護ステーションマップの掲示、 人材育成リーフレットの配布 参加者：19名 ③IT化等推進事業に関する普及啓発 ア 「千葉県看護協会版訪問看護ソフト」のチラシ作成、配布 • 人材育成研修会（褥瘡6/1、管理研修6/9）での配布 • 千葉県健康福祉部保険指導課へチラシ配布依頼のため訪問 イ 「千葉県看護協会版訪問看護ソフト」のパンフレット作成 ウ 機関誌等への掲載 • 看護しば7月号、1月号への記事掲載 県内の全訪問看護ステーションへ配布（1月号） • 訪問看護と介護4月号（医学書院）への記事掲載 エ 千葉県訪問看護ステーション連絡協議会でのPR • 総会（5/19）での事業説明、チラシ配布 • 広報誌「菜の花」への記事掲載 • 理事会（7/20）でのソフトの説明 オ 学会等への参加 • 訪問看護サミット2013（11/9、10） • 第3回日本在宅看護学会学術集会（11/16） • 第18回日本在宅ケア学術集会交流集会（3/16） 3.訪問看護ちばサポートセンター (1)請求事務等の支援 4.関係機関との連携 (1)日本看護協会、訪問看護協会等との連携 (2)医師会、訪問看護ステーション協議会等との連携	(4)訪問看護に関する調査研究 ①訪問看護ステーションの意向調査 調査目的：訪問看護実践センター事業に参画する意向等について把握する 実施時期：6月 対象：県内訪問看護ステーション231事業所 調査結果：回収状況 対象数231施設 回収120施設（回収率51.9%） • 平成26年度の訪問看護師採用予定 採用する78事業所（65%） • 採用する際の訪問看護経験 新卒15事業所（19.2%）、潜在37事業所（47.4%） • 人材育成のための体制整備 プリセプター配置32事業所（26.7%） • 千葉県看護協会版訪問看護ソフト使用の意向 使用したい6事業所（5%） 検討したい28事業所（23.3%） 詳細を聞きたい36事業所（30%） ②人材育成事業に関する普及啓発 ア 事業説明 4回（5/19、30、6/25、3/5） 千葉県訪問看護ステーション連絡協議会総会、千葉県看護学校協議会代表者会議 千葉県立野田看護専門学校、千葉県立保健医療大学（学生向け施設説明会） イ 訪問看護師育成フォーラムの開催 日時：11月30日（土）13:30～17:00 内容：基調講演「魅力ある訪問看護を一緒に」 在宅看護研究センターLLP 代表 村松静子 氏 実践報告・意見交換 「私たちは訪問看護師として頑張っています」 参加者：100名 （看護学生22名 教員19名 訪問看護師42名 他9名 事務局8名） ウ 機関誌等への掲載 • 看護しば4月号、10月号への記事掲載 県内の全訪問看護ステーションへ送付（10月号） • 訪問看護と介護4月号、8月号（医学書院）への記事掲載 • 看護教育10月号（医学書院）への記事掲載 • 週刊医学界新聞3月24日発行号（医学書院）への記事掲載 エ 平成25年度看護職合同就職説明会・船橋でのPR（船橋市と共に） 日時：12月19日（木）13:30～15:30 内容：船橋市内の訪問看護ステーションマップの掲示、 人材育成リーフレットの配布 参加者：19名 ③IT化等推進事業に関する普及啓発 ア 「千葉県看護協会版訪問看護ソフト」のチラシ作成、配布 • 人材育成研修会（褥瘡6/1、管理研修6/9）での配布 • 千葉県健康福祉部保険指導課へチラシ配布依頼のため訪問 イ 「千葉県看護協会版訪問看護ソフト」のパンフレット作成 ウ 機関誌等への掲載 • 看護しば7月号、1月号への記事掲載 県内の全訪問看護ステーションへ配布（1月号） • 訪問看護と介護4月号（医学書院）への記事掲載 エ 千葉県訪問看護ステーション連絡協議会でのPR • 総会（5/19）での事業説明、チラシ配布 • 広報誌「菜の花」への記事掲載 • 理事会（7/20）でのソフトの説明 オ 学会等への参加 • 訪問看護サミット2013（11/9、10） • 第3回日本在宅看護学会学術集会（11/16） • 第18回日本在宅ケア学術集会交流集会（3/16） 3.訪問看護ちばサポートセンター (1)請求事務等の支援 4.関係機関との連携 (1)日本看護協会、訪問看護協会等との連携 (2)医師会、訪問看護ステーション協議会等との連携
		— 11 —

項目	実施計画（新規事業：ゴシック）	事業実施事項（新規追加事業は◎ゴシック体で表示、再掲については記載を省略）
④ 県民の健康・福祉の増進に関する事業	<p>1. 「看護の日」「看護週間」事業</p> <p>(1) 第23回県民が集う「看護の日」事業 【テーマ】 こころを癒し支える看護 【月 日】 平成25年5月12日（日） ①場所 中央行事：川崎駅前広場東京ベイ幕張 地区部会行事：11地区部会 ②内容 「こころの相談」、訪問看護の啓発等</p> <p>③実行委員会の開催</p> <p>2. 「まちの保健室」事業</p> <p>(1) 常設型の開催 ①地区部会：12地区部会</p> <p>②協 会：千葉三越</p> <p>(2) イベント型の積極的な開催</p> <p>④</p> <p>3. 自殺予防対策(千葉県補助事業)</p> <p>(1) 心の総合相談</p> <p>(2) 自殺予防に関する広報</p> <p>(3) 研修会の開催（再掲）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「一般外来におけるうつ症状の早期発見と対応のポイント～ゲートキーパーの役割～」 ・「うつ傾向にある患者への関わり方」 <p>4. たばこ対策事業</p> <p>(1) 禁煙のための相談支援</p> <p>(2) たばこによる健康被害の普及啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ①普及啓発運営委員会の開催 年1回 ②看護学校における普及啓発の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・看護教員への禁煙指導研修会の開催 ・看護学生による地域住民等への健康教育 ・看護学生への禁煙支援 (千葉大学との共同研究) ③新人看護職への普及啓発 (3) 禁煙指導者の育成（再掲） 	<p>(1) 第23回県民が集う「看護の日」事業 【テーマ】 こころを癒し支える看護 【月 日】 平成25年5月12日（日） ①場 所 中央行事：アバランチホール東京ベイ幕張 地区部会行事：11地区部会 ②内 容 「こころの相談」、訪問看護の普及啓発等 参加人数 中央行事 486名（うち、一般参加者128名） 地区部会行事（11地区部会） 延6,494名（千葉地区を含む：千葉地区は、中央行事と共同開催があるが、別会場のため）</p> <p>③実行委員会の開催 7月4日（木）、10月10日（木）、1月20日（月）</p> <p>(1) 常設型の開催 ①地区部会：10地区部会 開催回数：82回 参加者数：延 5,378名 会 場：①アリオ蘇我（千葉）②ユニモちはら台（市原）③市川市中央図書館（市川） ④道の駅ようなん（東葛）⑤ボンベルタ成田（印旛）⑥ふれあいパーク八日市場ほか（利根） ⑦東金サンピア（山武）⑧茂原アスモ（長夷）⑨イオン木更津店（君津） ⑩イオンタウン鴨川ほか（安房）</p> <p>②協 会：千葉三越 開催回数：6回（5月18日、7月20日、9月21日、11月16日、1月18日、3月15日） 参加者数：ミニ講話 52名、相談10名 ミニ講話講師は、認定看護師及び他職種</p> <p>(2) イベント型の積極的な開催 ①地区部会主催 開催回数：12回 参加者数：延 3,950名 会場：11会場</p> <p>②協 会：千葉三越 7月15日（月）「夏の美と健康フェア」 参加者数延109名 内容：血圧測定、肺年齢測定、体脂肪測定、酸素飽和度測定（山王看護専門学校看護学生によるたばこの健康教育併設） 8月29日（木）「快適寝具と健康フェア」 参加者数延84名 内容：血圧測定、肺年齢測定、体脂肪測定、酸素飽和度測定</p> <p>(1) 心の総合相談 ・相談件数：456名（延557件）（県民 409名、看護職 38名、その他 9名） ・相談内容：メンタルヘルス、身体・健康問題、家庭問題、人間関係等 ・「平成25年度 自殺対策官民連携協働ブロック会議@東京」及び「自殺対策連携コーディネート研修」参加（9月12日） ・「平成25年度 千葉県自殺対策連絡会議・千葉県自殺対策連絡会議自殺対策連絡機関連絡調整部会合同会議」参加（1月31日） ・「電話相談に関する情報交換会」参加（3月5日）</p> <p>(2) 自殺予防に関する広報 ・カード式広告の増刷：54,000枚 配布先：精神科単科以外の病院や公的機関等 ・チラシの作成：54,000枚 配布先：浦安市53,300世帯（新聞折り込み）</p> <p>(3) 研修会の開催（再掲） ・「一般外来におけるうつ症状の早期発見と対応のポイント～ゲートキーパーの役割～」（5月18日・6月1日） 受講者：24名、18施設 ・「うつ傾向にある患者への関わり方」（12月11・12日） 受講者：106名、59施設</p> <p>(1) 禁煙のための相談支援 心の総合相談窓口に禁煙相談のあった2件について、禁煙外来等の紹介を実施</p> <p>(2) たばこによる健康被害の普及啓発 ①「たばこの健康被害」普及啓発運営委員会の開催 日 時：1月16日（木） 議 題：たばこ対策事業の実績と評価及び今後の対策について</p> <p>②看護学校における普及啓発の推進 ア看護教員への禁煙指導研修会の開催 ・教員、学生を含めた出前授業 9校 629名参加 ・教員による講義 7校 153名参加 イ看護学生による地域住民等への健康教育 ・13校（20イベント） 209名参加 ウ看護学生への禁煙支援（千葉大学との共同研究） ・3校 4名参加、3名禁煙成功</p> <p>③新人看護職への普及啓発 ・新人看護職員研修 1,197名 ・たばこに関するアンケート調査の実施 回答者 1,196名（回収率99.9%） 喫煙率 11.5%（男性32.8% 女性8.9%）</p> <p>④日本禁煙科学会学術総会での活動発表 日 時：11月3日（日） 場 所：群馬県高崎健康福祉大学</p>

項目	実施計画（新規事業：ゴシック）	事業実施事項（新規追加事業は◎ゴシック体で表示、再掲については記載を省略）
④ 県民の健康・福祉の増進に関する事業	<p>5. 災害支援対策事業</p> <p>(1) 災害支援ネットワークの強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ①千葉県看護協会災害対策本部の設置 ②災害時における関係機関との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・日本看護協会及び都道府県看護協会 ・千葉県、市町村 <p>③平常時における連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・九都県市合同防災訓練、市町村等訓練への参加 <p>・県内施設、日本看護協会等合同防災訓練</p> <p>(2) 災害に備えた支援体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ①災害支援ナースの登録促進 ②災害支援ナースの登録・管理 <p>③災害時の災害支援ナースの派遣調整</p> <p>④災害支援ナース派遣マニュアルの普及</p> <p>⑤災害時必要物品の管理</p> <p>(3) 災害支援ナースの育成（再掲）</p> <p>6. 千葉県小児救急電話相談事業</p> <p>(1) 相談員の登録・派遣</p> <p>(2) 相談員の勤務調整</p> <p>(3) 相談員研修会の開催</p>	<p>(1) 災害支援ネットワークの強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ①千葉県看護協会災害対策本部の設置 ②災害時における関係機関との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・日本看護協会及び都道府県看護協会 ・千葉県、市町村 柏市との「災害時における医療救護活動に関する協定書」及び「災害時における医療救護活動に係る費用弁償等に関する覚書」締結 7月1日付 <p>③平常時における連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・九都県市合同防災訓練、市町村等訓練への参加 九都県市合同防災訓練・千葉市会場訓練 <ul style="list-style-type: none"> 9月1日（日）千葉市蘇我スポーツ公園一帯 千葉地区部会看護職2名参加 9月都県市合同防災訓練・千葉県会場訓練 <ul style="list-style-type: none"> 9月14日（土）千葉科学大学 利根地区部会看護職15名参加（内、災害支援ナース9名） 船橋市総合防災訓練 <ul style="list-style-type: none"> 8月25日（日）船橋市内54小学校他 船橋地区部会看護職46名参加 ・県内施設、日本看護協会等合同防災訓練 <ul style="list-style-type: none"> 8月28日～8月30日 日本看護協会合同派遣訓練（災害支援ナース派遣調整） 参加施設：災害支援ナース所属施設59施設、派遣候補者92名、派遣決定者28名 協会内に災害対策本部設置 <p>(2) 災害に備えた支援体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ①災害支援ナースの登録促進 ②災害支援ナースの登録・管理 <ul style="list-style-type: none"> 災害支援ナースの登録 196名（3月末現在） 災害支援ナース登録システム改修 <ul style="list-style-type: none"> 平成25年3月の「災害支援ナース体制整備」に沿ったシステム改修を3月に実施 <p>③災害時の災害支援ナースの派遣調整</p> <p>④災害支援ナース派遣マニュアルの再検討及び普及</p> <ul style="list-style-type: none"> ア. 災害救護対応マニュアル作成検討会の開催 4回（11月1日、12月3日、12月17日、1月14日）委員7名（会長は災害救護対策担当の大木理事） <ul style="list-style-type: none"> イ. 「災害救護対応マニュアル」-平成16年以降、改訂されていなかったものを、内容を抜本的に見直して、会員施設用に改訂 <ul style="list-style-type: none"> 主な内容：災害時の体制（県内被災・県外被災、災害発生からの作業の流れ）、平時の体制、各種資料「災害支援ナース必携マニュアル」（ポケット版）-災害支援ナース登録者用に新規に作成 <ul style="list-style-type: none"> 主な内容：災害支援活動について（心構え、出動にあたって、支援活動の実際、活動終了後の事務処理）、各種資料ウ. マニュアルの普及啓発 <ul style="list-style-type: none"> ・研修会での普及啓発-「災害支援ナースフォローアップ研修」「災害医療と看護（実践編）」 ・マニュアルの配布 <ul style="list-style-type: none"> 「災害救護対応マニュアル」700部印刷：会員施設、日本看護協会、都道府県看護協会、関係機関に配布 「災害支援ナース必携マニュアル」1200部印刷：会員施設、日本看護協会、都道府県看護協会、関係機関、災害支援ナース登録者に配布 ⑤災害時必要物品の管理 <ul style="list-style-type: none"> 不足品の補充（防災頭巾、アルファ米、サランラップ、マジック、名札ケース等） <p>(3) 災害支援ナースの育成（再掲）</p> <ul style="list-style-type: none"> 「災害支援ナースフォローアップ研修会」 <ul style="list-style-type: none"> 日 時：2月27日（木）9：30～17：00 場 所：看護会館2階 大研修室 内 容：講義「千葉県看護協会の災害支援体制について」 「災害支援ナースのメンタルヘルスについて」 「災害支援ナース活動の実際～東日本大震災での支援活動から～」 演習「災害支援ナースとしての活動実践」 出席者：116名（参加者105名、講師等7名、協会4名） <p>(1) 相談員の登録・派遣</p> <p>相談日：365日 19：00～22：00</p> <p>相談体制：看護師3名（土日祝日 4名）、後方支援医師1名</p> <p>登録相談員：23名</p> <p>相談件数：18,724件 97.43%看護師の相談のみで解決</p> <p>(2) 相談員の勤務調整</p> <p>2ヶ月毎に勤務表作成</p> <p>(3) 相談員研修会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ①登録相談員の研修会 <ul style="list-style-type: none"> 第1回 日 時：9月29日（日）13：00～16：30 場 所：看護会館2階 中研修室 参加者：相談員19名 小児科医会医師2名 電話後方支援医師2名 事務局3名 内 容：事例検討会 相談件数の多い「発熱、下痢・嘔吐、咳痰」に関連した事例 講演「小児の発熱とその対応、気道感染・消化管感染を中心に」 講師 くろさきこどもクリニック院長 黒崎知道氏 第2回 日 時：2月23日（日）13：00～16：00 場 所：看護会館2階 中研修室 参加者：相談員22名 講師1名 事務局4名 内 容：研修会参加報告 グループワーク「自己事例とてらしあわせて」 講演「小児救急において優れたアセスメント能力を發揮する～外傷・頭部打撲等の症状と受診の目安～」 講師 東京女子医科大学八千代医療センター 小児専門看護師 村松三智氏 <p>臨時 事例検討会開催</p> <p>日 時：6月12日・15日</p> <p>場 所：千葉県医師会 会議室</p> <p>内 容：問題事例について ・概要の報告、事例対応についての説明及び意見交換</p>

項目	実施計画 (新規事業: ゴシック)	事業実施事項 (新規追加事業は◎ゴシック体で表示、再掲については記載を省略)
④ 県民の健康・福祉の増進に関する事業 ③	(4) 小児救急電話相談事業協議会への出席 7. 介護職等の喀痰吸引研修事業 (1) 千葉県介護職員等対象の喀痰吸引実地研修(県委託事業) 8. 関係機関・他団体への協力 (1) 研修会等への講師紹介や派遣 (2) 行事等への参加、必要時ボランティアの派遣	参加者：県医療整備課2名、千葉県医師会6名（内：小児科医会3名、事務員1名） 千葉県看護協会4名、相談員18名（欠席者5名） ②外部研修会 ・ 小児救急電話相談スキルアップ研修（日本小児保健協会 9/26, 11/23・24）受講者：2名（うち1名は9/26のみ） ・ 小児救急電話相談対応者研修（厚生労働省医政局 11/9）受講者：2名 (4) 小児救急電話相談事業協議会への出席 2回（9/6 3/27） (1) 千葉県介護職員等対象の喀痰吸引等研修(県委託事業) 基本研修(講義50時間、演習(県内看護師養成所5校)、実地研修(受講生所属施設、県内療養病床のある病院) 1コース 1回 98名 委員会開催 4回 (6/14、7/2、7/31、1/22) (1) 研修会等への講師紹介や派遣 千葉県生涯大学校へ講師派遣 15回(5/9、5/10、5/14、5/16、5/18、6/24、7/8、9/22、10/23、11/26、11/28、11/30、12/3、1/24、2/26) 千葉県鍼灸マッサージ師会主催県民公開講座へ講師派遣 9月8日（日） (2) 行事等への参加、必要時ボランティアの派遣 心のふれあいフェスティバル(5/8) がん予防展・がん講演会(9/14) *「血圧測定、相談コーナー」は船橋地区部会イベント型「まちの保健室」として参加 千葉県精神障害者 ソフトバレーボール大会(9/25) 心の健康フェア(11/13) 健康ちば推進県民大会(11/17) 地域移行支援（退院支援）セミナー(2/15) がん予防展（茂原市会場）(2/16) *長夾地区部会イベント型「まちの保健室」として参加
⑤ 看護に関する調査研究、看護業務の開発及び看護制度への提言等に関する事業	1. 職能委員会 (1) 保健師職能委員会 年6回 (2) 助産師職能委員会 年6回 (3) 看護師職能委員会 年6回 (4) 三職能合同委員会 年1回 2. 職能集会・交流会 (1) 三職能合同集会 (2) 各職能別交流会 ①保健師活動交流会 ②助産師交流会（管理者、中堅） ③看護師交流会	(1) 保健師職能委員会 7回(8/12、9/21、10/22、12/24、1/18、2/12、3/17) (2) 助産師職能委員会 6回(8/28、11/28、12/18、1/30、2/14、3/1) (3) 看護師職能委員会 6回(8/17、9/4、11/13、12/4、1/25、2/5) (4) 三職能合同委員会 2回(7/5、9/21) (1) 三職能合同集会 (9/21) 千葉県看護会館 大研修室 一般参加者64名（保20名・助15名・看29名）、三職能委員（23名） テーマ 「あなたの笑顔でハッピーに！～妊娠・出産から子育てまでをつなぐ看護職連携～」 報告 「母子保健法の改正と看護職連携」千葉県児童家庭課母子保健班 班長 鈴木麗子氏 パネルディスカッション「妊娠・出産から子育てまでをつなぐ看護職連携 （～保健師、助産師、訪問看護師の立場から～）」 講演「愛と希望の看護～あなたの笑顔でハッピーに！～」 講師 テルモ（株）取締役副社長執行役員 松村啓史氏 事前打合せ会(8/22)、8名参加 講演講師1名、パネルディスカッション座長1名・パネラー3名・各職能委員長3名 (2) 各職能別交流会 ①保健師活動交流会(1/18) 千葉県看護会館2階中研修室 参加者数69名 テーマ 「保健師活動の原点 今、あらためて地区活動を考える」～保健師活動指針の改定を踏まえて～ 講演「保健師活動の原点 今、あらためて地区活動を考える」 講師 公益社団法人日本看護協会 保健師職能委員長 中板育美氏 実践報告「佐倉市の地区診断と地区活動計画」佐倉市健康こども部健康増進課 主査補 戸村恵美氏 「館山市の保健師活動の強みを活かした地域の防災意識向上への取り組み」 館山市健康福祉部健康課 副課長兼任予防係長 上野澄子氏、予防係保健師 宮井利枝氏 グループワーク 「地区活動を推進するために今からできること」 ②助産師交流会 産科管理者交流会(10/30) 千葉県看護会館2階中研修室 参加者数32名 テーマ 「魅力ある助産ケアを提供していくために」～助産ケアの均一化と助産師の能力のみえる化～ 講演「助産師実践能力習熟段階（クリニカルラダー）の活用」 講師 獨協医科大学病院 副院長・看護部長 佐山静江氏 話題提供・グループディスカッション「分娩施設の状況と課題、魅力あるケアを提供できる助産師の能力をアップするために」 中堅助産師交流会(1/30) 千葉県看護協会2階中研修室 参加者数18名 テーマ 「魅力ある助産ケアを提供していくために」 ～最新の不妊治療の現状の理解とその後の女性とその家族への妊娠・出産・育児支援へのあり方を考える。～ 講演「最新不妊治療の現状の理解とその後の女性とその家族への妊娠・出産・育児支援へのあり方を考える。」 講師 東邦大学医療センター佐倉病院 不妊症看護認定看護師 勝又由美氏 グループディスカッション 「自分たちの助産ケアの現状と今後のキャリアアップへの課題と方向性を見出す」 ③看護師交流会 (1/25) 千葉県看護会館大研修室 参加者数137名 テーマ 「医療・介護の制度政策を知り、高齢者療養生活や終末期の生活を支える看護師の役割について考える」 「看取り」、「在宅医療」など、病院や介護施設における高齢者看護の質向上について考える機会とする 講演「超高齢化社会の医療・介護の制度政策とこれからの動向」～病院機能分化と、地域包括ケアシステムについて～ 講師 公益社団法人日本看護協会 常任理事 齊藤訓子氏 パネルディスカッション「高齢者の療養生活と終末期を支える看護」 ①急性期病院からの退院支援・退院調整事例（病院で働く看護師） パネラー 東邦大学医療センター佐倉病院 看護相談室長 林弥生氏 ②在宅支援と終末期ケア（訪問看護ステーションで働く看護師） パネラー いこい訪問看護ステーション茂原 夏目昌信氏 ③介護老人保健施設での終末期ケア（老健で働く看護師） パネラー ロータスケアセンター 久保伸子氏

項目	実施計画（新規事業：ゴシック）	事業実施事項（新規追加事業は◎ゴシック体で表示、再掲については記載を省略）
⑤ 看護制度への提言等に関する調査研究 看護業務の開発及び	<p>④准看護師交流会</p> <p>3. 県行政等への要望・意見具申 (1) 県の翌年度予算等に関する要望書の提出 (2) 県議会等の活動への協力依頼等 (3) 千葉県医療審議会等への参画</p> <p>4. 看護関連施策に対する提言 (1) 国・日本看護協会等の要望・提言（再掲） (2) 資格認定制度の推進 ①専門看護師、認定看護師への支援 ②専門看護師、認定看護師等の資格取得の促進 ③看護師特定能力認証制度（特定行為に係る看護師の認証制度）の普及</p>	<p>④特別養護老人ホームでの終末期ケア（特養で働く看護師） パネラー 特別養護老人ホーム袖ヶ浦菜の花苑 大森由子氏</p> <p>④准看護師交流会1回(8/17) 千葉県看護会館大研修室 参加者73名 テーマ 准看護師のステップアップ 講演 「呼吸・循環フィジカルアセスメント～あなたの知識と五感をフル活用～」 講師 帝京大学ちば総合医療センター 集中ケア認定看護師 平野 充氏 看護師養成所における学習体験報告 ①(通信制) 東京衛生学園専門学校卒業生 五香病院 長谷川恵津子氏 ②(全日制) 野田看護専門学校第二看護学科卒業生 聖隸佐倉市民病院 松戸友見氏 グループワーク（進学について）</p> <p>(1) 県の翌年度予算等に関する要望書の提出(8/27) 要望事項①千葉県における看護職の定着・確保の推進 ②在宅医療・訪問看護の推進 ③安全・安心な出産環境の確保 ④保健師の資質の向上と新たな活動方策の確立 ⑤医療安全対策の推進 ⑥地域医療再生基金活用事業の継続</p> <p>(2) 県議会等の活動への協力依頼等 (3) 千葉県医療審議会等への参画 千葉県・市町村等関係会議：42回 関係団体等会議：42回</p> <p>(1) 国・日本看護協会等の要望・提言（再掲） 日本看護協会代議員研修会への参加(5/24) (千葉県看護会館中研修室、通常総会(6/4・5)への代議員の参加(幕張イベントホール)</p> <p>(2) 資格認定制度の推進 ①専門看護師、認定看護師への支援 ②専門看護師、認定看護師等の資格取得の促進 ③看護師特定能力認証制度（特定行為に係る看護師の認証制度）の普及 第2回施設等会員代表者会における実践報告(3/19) ホテルポートプラザちば 実践報告「看護師特定能力認証制度（仮称）について」</p>
⑥ 指定居宅サービス・居宅介護支援に関する事業並びに訪問看護の実施に関する事業	<p>1 訪問看護事業 (1) 質の高い訪問看護の提供 (2) 在宅ホスピス・医療ニーズの高い患者家族への支援 (3) 24時間、緊急時の訪問看護体制の充実</p> <p>2. 居宅介護支援事業 (1) 質の高いケアプランの提供 (2) 地域のネットワークづくり (3) 利用者の申請代行</p> <p>3. 訪問看護の普及 (1) 訪問看護研修生の受け入れ (2) 看護学生実習の受け入れ (3) 訪問看護実践センター事業への参画</p> <p>4. 地域ニーズに応じた運営体制の整備 (1) 在宅ホスピス・医療ニーズの高い患者家族への支援 (2) サテライトの運営 (3) ちば訪問看護ステーション定例会議 月1回 (4) ちば訪問看護ステーション運営会議 年4回</p> <p>5. 医療機関・介護サービス事業所及び他職種との連携 (1) 医療機関、介護支援専門員等との連携 ①地域の行事・交流会、連絡会への参加 (2) 利用者確保のための広報活動</p> <p>6. 職員の資質の向上 (1) 事例検討会 (2) 研修会・学会等への参加 (3) 地域の行事・交流会、連絡会等への参加(再掲)</p>	<p>(1) 質の高い訪問看護の提供（以下、ちば訪問看護ステーションのみ） 利用者数95名、月平均55名(3月末現在常勤看護換算6.8人) 訪問看護 4,513回、月平均376回</p> <p>(2) 在宅看取り・医療ニーズの高い患者家族への支援 在宅における看取り 14名、月平均1.2名 人工呼吸器装着患者 7名</p> <p>(3) 24時間、緊急時の訪問看護体制の充実 緊急訪問 169件、月平均14件(うち休日5.5回)</p> <p>(1) ケアプランの提供 76名、月平均 54件 (3月末現在常勤換算1.7人) (2) 地域のネットワークづくり 居宅サービス事業者との連携の担当者会議 月平均5回 (3) 利用者の申請代行 3件</p> <p>(1) 訪問看護研修生の受け入れ 14人(5施設) 延28日間 (2) 看護学生実習の受け入れ 54人(11校) 延87日間 (3) 訪問看護実践センター事業への参画 新卒看護師・2年目1名、既卒者の採用3名 プリセプターの配置4名 学習支援会議・人材育成会議、実践センター専門部会等への参加 30回</p> <p>(1) 在宅での看取り・医療ニーズの高い患者家族への支援 (2) サテライトの運営(柏) サテライトを開設(4/1 開設) 利用者数33名 月平均12.6名(3月末現在常勤看護換算2.0人) 訪問看護 702回、月平均58.5回</p> <p>(3) ちば訪問看護ステーション定例会議 11回(4/16、5/21、6/25、7/23、9/10、10/22、11/19、12/17、1/21、2/18、3/11) (4) ちば訪問看護ステーション運営会 2回(7/18、2/13)</p> <p>(1) 医療機関、介護支援専門員等との連携 ①地域の行事・交流会、連絡会への参加 訪問看護ステーション連絡協議会への参加 9回 居宅介護連絡協議会参加 2回 地域の行事・交流会への参加 10回 指定地域の開業医、病院、ケアマネ等連絡協議会へ出席 8回</p> <p>(2) 利用者確保のための広報活動</p> <p>(1) 事例検討会 月1回～2回 (2) 研修会・学会等への参加 11名(延20日間) 関東甲信越地区保健師助産師看護師実習指導者講習会等 (3) 地域の行事・交流会、連絡会等への参加(再掲)</p>

項目	実施計画（新規事業：ゴシック）	事業実施事項（新規追加事業は◎ゴシック体で表示、再掲については記載を省略）
	<p>1. 地区部会活動事業</p> <p>(1) 会議・研修会の開催 ①研修会 年3回 ②役員会 年5回程度 ③連絡会 年2回以内</p> <p>(2) 看護職確保定着対策の推進 ①就業協力員活動</p> <p>(3) 会員増の促進（再掲）</p> <p>(4) 地域住民に対する健康相談・教育（再掲） ①まちの保健室の開催 ②「看護の日」・「看護週間」事業</p> <p>(5) 地区部会事業・先駆的事業 ①地区部会における課題を解決するための先駆的事業</p> <p>②協会と協働事業の実施</p> <p>(6) 地域ネットワークづくりの推進 ①市町村及び関係機関との連携 ②地域の保健医療政策への提言 ③三機能委員会・常任委員会等との連携</p>	<p>(1) 会議・研修会の開催 ①研修会 87回 (12地区部会) ②役員会 25回 (12地区部会) ③連絡会 31回 (12地区部会)</p> <p>(2) 看護職確保定着対策の推進 ①就業協力員活動 就業協力員部会2回 (7/4, 10/20)</p> <p>(3) 会員増の促進（再掲）</p> <p>(4) 地域住民に対する健康相談・教育（再掲） ①まちの保健室の開催 ②「看護の日」・「看護週間」事業</p> <p>(5) 地区部会事業・先駆的事業 ①地区部会における課題を解決するための先駆的事業 ・印旛地区：印旛地区卒後研修会（公開講座） 参加者：20名 参加施設：日本医科大学千葉北総病院・成田赤十字病院・社会福祉法人聖隸福祉事業団 聖隸佐倉市民病院・東邦大学医療センター佐倉病院 ・山武地区：平成26年2月6日(木) (山武地区と協働) 会場：城西国際大学看護学部 参加施設：9施設 参加者：15名（再掲） ・安房地区：高校進路ガイダンス 依頼高校：3校 参加者：240名</p> <p>②協会と協働事業の実施</p> <p>(6) 地域ネットワークづくりの推進 ①市町村及び関係機関との連携 ②地域の保健医療政策への提言 ③三機能委員会・常任委員会等との連携</p>
⑦ その他、この法人が目的を達成するために必要な事業	<p>1. 情報提供、広報事業</p> <p>(1) 千葉県看護協会の広報 ①機関誌「看護ちば」の発行 ②ホームページの充実</p> <p>③協会パンフレット等の活用</p> <p>(2) 県民に対する健康情報等の提供</p> <p>(3) 広報委員会の開催年6回</p>	<p>(1) 千葉県看護協会の広報 ①機関誌「看護ちば」の発行 4回 (4月、7月、10月、1月)、総会特集号の発行 1回 (5月) ②ホームページの充実 ア. アクセス件数(年総計) : 371,116件 イ. 協会ホームページのスマートフォン対応化 ③協会パンフレット等の活用</p> <p>(2) 県民に対する健康情報等の提供</p> <p>(3) 広報委員会の開催 6回 (5/24、6/25、9/10、11/15、1/28、3/5)</p>
	<p>1. 組織運営に関する会議等の開催</p> <p>(1) 総会 年1回 ①日時：平成25年6月19日(金) ②場所：ホテルポートプラザちば</p> <p>(2) 理事会 年6回</p> <p>(3) 施設等会員代表者会 年2回以上</p> <p>(4) 地区部会長会 年3回</p> <p>(5) 保助看職能委員会 年6回程度（再掲）</p> <p>(6) 推薦委員会</p> <p>(7) 常任委員会（再掲） 年6回</p> <p>(8) 千葉県看護連盟との連携</p>	<p>(1) 総会 年1回 ①日時：平成25年6月19日(金) 参加者371名 ②場所：ホテルポートプラザちば 議題 ①平成24年度事業報告・決算報告について ②平成25年度役員等の選出について ③平成25年度千葉県看護協会スローガンについて ④平成26年度日本看護協会通常総会代議員選出について</p> <p>(2) 理事会 7回 (定期会 5/16、6/19、7/11、9/5、12/12、2/13、3/19) (3) 施設等会員代表者会 (2回) 第1回 (7/19) ホテルポートプラザちば、参加者141名 ・平成25年度千葉県看護協会の事業及び運営について、第3次看護職定着・確保対策推進計画について ・実践報告①「WLBへの取り組みと今後の展開」 東京湾岸リハビリテーション病院看護部長 伊東和子氏 ②「12時間夜勤～一年の取り組みと課題～」 千葉県済生会習志野病院 看護師長 戸塚規枝氏 ・講演「夜勤交代制勤務に関するガイドラインを読み解く～看護職が健康で安全に働き続けられるために～」 講師 日本看護協会労働政策部 専門職 奥村元子氏</p> <p>第2回 (3/19) ホテルポートプラザちば 参加者158名(うち講演のみ参加者12名) ・平成26年度千葉県看護協会事業計画及び予算等について ・実践報告「看護師特定能力認証制度(仮称)について」 ①日本医科大学千葉北総病院 皮膚・排泄ケア認定看護師 看護師長 渡邊光子氏 ②東京ベイ・浦安市川医療センター 診療看護師 筑井菜々子氏 ・講演「平成26年度診療報酬改定について」厚生労働省保険局医療課 課長補佐 習田由美子氏</p> <p>(4) 地区部会長会 3回 (7/4、10/10、2/20) (5) 保助看職能委員会（再掲）</p> <p>(6) 推薦委員会 4回 (8/30、10/7、12/5、1/31) (7) 常任委員会（再掲） 年6回 教育委員会 労働環境改善委員会 医療安全委員会 広報委員会 会員増促進委員会</p> <p>(8) 千葉県看護連盟との連携 合同役員会 3回 (5/20、6/30、2/3) 合同研修会 (2回) 1回目 (6/30) 講演「看護職一人ひとりが豊かに働き続けるために」 講師 参議院議員 高階恵美子氏 2回目 (2/22) 講演①「税と社会保障を考える～消費税引き上げによる私たちの暮らしへの影響」 講師 財務省主税局総務課課長補佐 南 孝徳氏 講演②「これからの看護を語る～チーム医療で看護職がキーパーソンになるために～」 講師 日本看護連盟 会長 草間朋子氏</p>

項目	実施計画（新規事業：ゴシック）	事業実施事項（新規追加事業は◎ゴシック体で表示、再掲については記載を省略）
⑦ その他、この法人が目的を達成するためには必要な事業	<p>2. 会員サービス・福祉の充実 (1)会員への相談支援、情報提供 (2)看護職の表彰 (3)慶弔、病気見舞い (4)災害時の支援 (5)会員福利厚生サービス会社との契約</p> <p>3. 会員増の促進 (1)新規入会の促進 ①新人看護職の入会促進 ②未加入施設への入会促進 ③保健師・准看護師の入会促進 (2)継続会員への勧奨 (3)再入会者への入会促進 (4)会員増促進委員会の開催 年6回</p> <p>4. 公益社団法人に係る届出事務 (1)平成25年度事業計画・収支予算等の提出 (2)平成24年度定期報告（事業報告・決算報告等） (3)役員等の変更登記及び届出</p> <p>5. 日本看護協会との連携 (1)法人会員会・理事会 (2)職能委員長会 (3)日本看護協会通常総会代議員選出</p> <p>6. 行政等との連携 (1)千葉県及び市町村主催の会議等への参画 (2)三師会、日本助産師及び関係団体との連携 (3)関係団体の行事等への協賛・後援</p> <p>7. 役員・職員の資質の向上と福利厚生 (1)研修の実施 (2)健康診断</p> <p>8. 看護会館の維持に関する事業 (1)会館の保全等 ①安全管理 ・火災、防災訓練 ・消防用設備等の点検 ・設備の整備、点検 ②環境整備 ・エコの積極的な取組み</p>	<p>(1)会員への相談支援、情報提供 (2)看護職の表彰 平成25年度千葉県看護協会長表彰 (193名) (3)慶弔、病気見舞い (該当6件) (4)災害時の支援 該当なし (5)会員福利厚生サービス会社との契約 契約締結日：平成25年11月16日 サービス内容等について平成26年3月に協会ホームページに掲載</p> <p>(1)新規入会の促進 会員数 24,135名 (3/31現在、前年比894名増、うち新規会員2,616名) ①新人看護職の入会促進 (フレッシュセミナー等で入会の案内を実施) ②未加入施設への入会促進 ③保健師・准看護師の入会促進 会員施設等で勤務する准看護師へのアンケート調査 (7月～8月) 保健師たより発行による保健師への入会の案内 (8月)、准看護師交流会における入会の案内(看護師職能委員会)(8月) (2)継続会員への勧奨 未継続・退会者へのアンケート調査、県内看護学校等教育機関へのアンケート調査実施(7月) (3)再入会者への入会促進 (4)会員増促進委員会の開催 5回 (5/21、9/10、10/17、12/19、3/20)</p> <p>(1)平成25年度事業計画・収支予算等の千葉県知事への提出 (4/1) (2)平成24年度定期報告 (千葉県知事へ事業報告・決算報告等) (6/30) (3)役員等の変更登記及び届出 (千葉地方法務局への役員等変更登記の申請) (8/8)</p> <p>(1)法人会員会・理事会 日本国看護協会通常総会 (6/4・5)への代議員26名の参加 全国職能別交流集会 (6/6) 理事会6回 (5/10、6/5、7/23・24、9/18、11/28・29、2/27・28) 法人会員会(中央) 5回 (5/10、7/24、9/18、11/29、1/28) (2)職能委員長会(全国) 2回 (8/2、3/7) (3)日本看護協会通常総会代議員選出 平成25年度代議員等事前研修会(5/24)、参加者 (代議員名25名・予備代議員14名) 平成25年度定時総会において代議員26名・予備代議員26名の選出及び選任(6/19)、日本看護協会へ報告 (7/31)</p> <p>(1)千葉県及び市町村主催の会議等への参画 (2)三師会、日本助産師会及び関係団体との連携 (3)関係団体の行事等への協賛・後援等 59件(後援 55件、共催3件、賛同1件)</p> <p>(1)職員研修の実施 (2)健康診断、役・職員対象 (10～12月実施)</p> <p>(1)会館の保全等 ①安全管理 ・火災、防災訓練(12月実施) ・消防用設備等の点検(6月) ・設備の整備、点検 看護会館大研修室 空調設備の部品交換(6月) 看護会館入口水道管漏水の修繕(5月～7月) 看護会館防犯灯の設置工事 (3月) ②環境整備 ・エコの積極的な取組み 節電節水の実施</p>

平成25年度決算報告

1. 会計基準について

平成24年度、新公益社団法人へ移行したことに伴い、本会の決算書は新公益法人制度に準拠した「20年会計基準」に基づいて作成されることとなり、当該会計基準適用により以下のとおりとなっている。

* 「平成20年会計基準」 国の定める公益社団法人の標準会計方式（平成20年策定、施行）

（1）会計区分について

会計区分については、「公益目的事業会計」、「収益事業等会計」、「法人会計」の3会計区分にて構成されることとなった。

- ① 「公益目的事業会計」は、定款第4条（事業）の規定による7つの事業に区分している。
- ② 「収益事業等会計」は、収益事業である「施設の貸与等事業」「販売手数料及び出展広告料に関する事業」と、相互扶助事業である「会員福利厚生等に関する事業」に区分している。
- ③ 「法人会計」には、事業費以外の管理部門経費などが計上されている。

（2）財務3基準について

公益社団法人には、法定要件として次の財務3基準を満たすことが求められる。

- ① 収支相償の原則（認定法第5条6号、第14条）
公益目的事業に係る収入が、公益目的事業に要する費用を超えてはならない。
- ② 公益目的事業比率（認定法第5条8号、第15条）
公益目的事業の費用が、事業費・管理費の合計額の50%以上でなければならない。
- ③ 遊休財産保有制限（認定法第5条9号、第16条）
遊休財産額（使途を定めない財産）が保有制限額（1年分の公益目的事業費相当額）を超えてはならない。

2. 平成25年度決算の概要

全体決算の規模は、収益で5.2億円（予算執行率99.99%）、費用で5.2億円（予算執行率101.29%）であり、主な点は以下のとおりである。

（1）経常収益について

- ① 受取年会費は予算額と同額の144,810千円であった。なお、受取入会金・受取年会費については、会費規程に基づき、その50%を公益目的事業会計へ計上している。（残額は法人会計へ計上）
- ② 事業受託料は125,962千円で、予算と比較して4,073千円の減額となっている。
主な減額要因は、看護職員の資質向上研修事業受託料の減額である。
- ③ 補助金・助成金は予算額と同額の92,574千円であった。

(2) 経常費用について

- ① 公益目的事業会計の経常費用の合計は436,431千円で、予算と比較して7,651千円の増額となっている。
- ② 収益事業等会計の経常費用の合計は6,604千円で、予算と比較して26千円の減額である。
- ③ 法人会計の経常費用の合計は73,943千円で、予算と比較して1,052千円の減額である。

(3) 平成25年度決算における財務3基準について

- ① 収支相償（概算）

公益事業経常収益422,575千円 - 公益事業経常費用371,724千円 = 公益事業経常増減額50,851千円
50,851千円 - *各種調整額合計51,490千円 = ▲639千円

公益目的事業に係る収入が、公益目的事業に要する費用を超えていないため、基準を満たしている。

*各種調整額合計……支出を伴わない費用や、費用計上されない支出などを調整したもの

- ② 公益目的事業比率（概算）

公益事業経常費用371,724千円 ÷ (経常費用合計452,272千円 + 記念事業積立額400千円)
=82.12% ≥50%

公益目的事業の費用が、事業費・管理費等の合計額の50%以上であるため、基準を満たしている。

- ③ 遊休財産保有制限（概算）

平成25年度末遊休財産額229,353千円 ≤ 保有制限額371,724千円
遊休財産額が保有上限額を超えていないため、基準を満たしている。

平成25年度 正味財産増減計算書 総合計

(単位：千円)

経 常 収 益 計	516, 864
経 常 費 用 計	452, 272
当 期 経 常 増 減 額	64, 592
当 期 経 常 外 増 減 額	△ 3, 394
正味財産期首残高	688, 337
正味財産期末残高	749, 535

平成25年度 正味財産増減計算書 収益の部

(単位：千円)

会計区分	科 目	決算額	予算額	増減額	執行率
公益目的事業会計	受取入会金	15, 703	15, 727	△ 24	99.85%
	受取年会費	72, 405	72, 405	0	100.00%
	研修会参加料	50, 587	50, 777	△ 190	99.63%
	事業受託料	看護職員の資質向上研修事業受託料（千葉県）	36, 718	41, 470	△ 4, 752
		看護職員の就労環境改善事業受託料（千葉県）	3, 417	3, 417	0
		ナースセンター事業受託料（千葉県）	29, 552	29, 552	0
		訪問看護実践センター事業等受託料（千葉県）	34, 333	34, 333	0
		小児救急電話相談事業受託料（千葉県）	1, 092	1, 263	△ 171
		助産師派出支援モデル事業受託料（日本看護協会）	850	0	850
		介護職員等対象喀痰吸引研修事業受託料（千葉県）	20, 000	20, 000	0
		小 計	125, 962	130, 035	△ 4, 073
	受取補助金等	教育助成金（日本看護協会）	9, 121	9, 121	0
		看護の普及啓発助成金（日本看護協会）	100	100	0
		訪問看護実践センター事業補助金（千葉県）	80, 473	80, 473	0
		自殺予防対策事業補助金（千葉県）	2, 880	2, 880	0
		小 計	92, 574	92, 574	0
	特定資産受取利息及び雑収益	798	358	440	222.91%
	訪問看護・居宅介護支援事業収益	70, 366	67, 393	2, 973	104.41%
	公益目的事業 計（内部取引調整前）	428, 395	429, 269	△ 874	99.80%
	内部取引消去	△ 5, 820			
	公益目的事業 計	422, 575			
収益事業等会計	施設の貸与等事業	本納賃貸料	481	482	△ 1
	販売手数料及び出展広告料に関する事業 会員福利厚生等に関する事業	看護の日広告料・医療安全大会協賛金等	2, 279	2, 001	278
		受取年会費・自販機管理手数料等	6, 213	6, 216	△ 3
		収益事業等 計（他会計振替額含む）	8, 973	8, 699	274
	他会計振替額	△ 6, 048			
	収益事業等 計	2, 925			
	他会計振替額	△ 6, 048			
法人会計	受取入会金	15, 703	15, 727	△ 24	99.85%
	受取年会費	66, 357	66, 327	30	100.05%
	会員管理受託料・総会代議員業務受託料（日本看護協会）	2, 525	2, 525	0	100.00%
	特定資産受取利息及び雑収益	731	197	534	371.07%
	法人会計 計（他会計振替額除く）	85, 316	84, 776	540	100.64%
	他会計振替額	6, 048			
	法人会計 計	91, 364			
経常収益計（内部取引調整前）		522, 684	522, 744	△ 60	99.99%
内部取引消去等		△ 5, 820			
経 常 収 益 計		516, 864			

平成25年度 正味財産増減計算書 費用の部

(単位 : 千円)

会計区分	定款事業			決算額	予算額	増減額	執行率
公益目的事業会計	① 教育・研修等による看護の質の向上に関する事業	資質向上	生涯教育	66,977	59,912	7,065	111.79%
			千葉県看護研究学会				
			図書室の管理運営				
		資質向上(県)	千葉県委託研修	44,264	41,603	2,661	106.40%
			小計	111,241	101,515	9,726	109.58%
	② 看護師等の労働環境等の改善、就業促進等により、看護師等の人材確保・定着に関する事業	看護職確保・定着事業	第3次千葉県看護職定着・確保推進計画の普及・推進	9,508	11,230	△ 1,722	84.67%
			看護職の労働環境の向上				
		ナースセンター(県)	ナースセンター事業(千葉県委託)	30,146	29,793	353	101.18%
		医療看護安全	医療・看護における安全対策	6,787	7,328	△ 541	92.62%
			小計	46,441	48,351	△ 1,910	96.05%
	③ 訪問看護の推進に関する事業	訪問看護推進(県)	訪問看護推進事業(千葉県委託)	114,942	115,076	△ 134	99.88%
			訪問看護実践センター事業 (千葉県委託・補助事業) (地域医療再生計画事業)				
		訪問看護推進	訪問看護ちばサポートセンター	3,562	3,595	△ 33	99.08%
			関係機関との連携				
			小計	118,504	118,671	△ 167	99.86%
	④ 県民への健康・福祉の増進に関する事業	保健知識普及啓発	「看護の日」「看護週間」事業	27,941	27,126	815	103.00%
			「まちの保健室」事業				
			自殺予防対策(千葉県補助事業)				
			たばこ対策事業				
			千葉県小児救急電話相談事業				
			介護職員等対象喀痰吸引研修事業(千葉県委託)				
			関係機関・他団体への協力				
		災害救護対策	災害支援対策事業	6,251	6,517	△ 266	95.92%
			関係機関・他団体への協力				
			小計	34,192	33,643	549	101.63%
	⑤ 看護に関する調査研究、看護業務の開発及び看護制度への提言等に関する事業	職能	職能委員会	3,658	4,990	△ 1,332	73.31%
			職能集会・交流会				
		看護制度	県行政等への要望、意見具申	746	680	66	109.71%
			看護関連施策に対する提言				
			小計	4,404	5,670	△ 1,266	77.67%
	⑥ 介護保険法に基づく指定居宅サービス・居宅介護支援に関する事業並びに健康保険法に基づく訪問看護に関する事業	訪問看護・居宅介護	訪問看護事業	81,568	80,826	742	100.92%
			居宅介護支援事業				
			訪問看護の普及				
			地域ニーズに応じた運営体制の整備				
			医療機関・介護サービス事業所及び他職種との連携				
			職員の資質の向上				
			小計	81,568	80,826	742	100.92%
	⑦ その他、この法人の目的を達成するため必要な事業	地区部会	地区部会活動事業	12,016	11,378	638	105.61%
		広報	情報提供、広報事業	11,894	11,417	477	104.18%
			小計	23,910	22,795	1,115	104.89%
	公益目的事業共通		各公益目的事業に係る共通経費	16,170	17,309	△ 1,139	93.42%
	公益目的事業 計(内部取引等調整前)			436,431	428,780	7,651	101.78%
	内部取引消去等			△ 64,707			
	公益目的事業 計			371,724			
収益事業等会計	施設の貸与等事業	施設の貸与等事業に伴う事業費	615	623	△ 8	98.72%	
	販売手数料及び出展広告料に関する事業	販売手数料及び出展広告料に関する事業に伴う事業費	337	344	△ 7	97.97%	
	会員福利厚生等に関する事業	会員福利厚生等に関する事業に伴う事業費	5,652	5,663	△ 11	99.81%	
		収益事業等 計	6,604	6,630	△ 26	99.61%	
法人会計	組織運営関係費(総会、理事会、会員増委員会 その他)			73,943	74,995	△ 1,052	98.60%
	その他一般管理費						
	法人会計 計			73,943	74,995	△ 1,052	98.60%
	経常費用計(内部取引等調整前)			516,978	510,405	6,573	101.29%
内部取引消去等			△ 64,707				
経常費用計			452,272				

貸借対照表

平成26年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	245,978,667	328,493,210	△ 82,514,543
未収入金	112,208,800	54,745,446	57,463,354
立替金	88,725	0	88,725
前払費用	800,317	969,970	△ 169,653
流動資産合計	359,076,509	384,208,626	△ 25,132,117
2. 固定資産			
(1)基本財産			
基本財産合計	0	0	0
(2)特定資産			
退職給付引当資産	38,359,235	32,906,235	5,453,000
看護会館取得資産	237,753,208	212,866,145	24,887,063
車両運搬具取得資産	6,500,000	8,000,000	△ 1,500,000
記念事業積立資産	400,000	0	400,000
特定資産合計	283,012,443	253,772,380	29,240,063
(3)その他固定資産			
建物	362,483,658	362,483,658	0
構築物	35,220,427	31,734,427	3,486,000
車両運搬具	12,763,022	12,016,460	746,562
什器備品	74,548,486	66,658,032	7,890,454
図書	30,372,552	30,326,423	46,129
リース資産	11,561,700	11,561,700	0
その他固定資産	79,605,099	20,699,978	58,905,121
減価償却累計額	△ 328,660,833	△ 323,404,668	△ 5,256,165
電話加入権	1,186,490	1,186,490	0
保証金	110,000	110,000	0
リサイクル預託金	116,630	108,320	8,310
その他固定資産合計	279,307,231	213,480,820	65,826,411
固定資産合計	562,319,674	467,253,200	95,066,474
資産合計	921,396,183	851,461,826	69,934,357
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	31,500	1,856,992	△ 1,825,492
リース債務	3,777,750	4,783,722	△ 1,005,972
前受金	5,616,000	0	5,616,000
前受会費	122,586,000	121,962,000	624,000
預り金	1,464,328	1,534,015	△ 69,687
流動負債合計	133,475,578	130,136,729	3,338,849
2. 固定負債			
役員退職慰労引当金	6,786,111	0	6,786,111
退職給付引当金	31,599,280	32,987,978	△ 1,388,698
固定負債合計	38,385,391	32,987,978	5,397,413
負債合計	171,860,969	163,124,707	8,736,262
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	749,535,214	688,337,119	61,198,095
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	(244,653,208)	(220,866,145)	(23,787,063)
負債及び正味財産合計	749,535,214	688,337,119	61,198,095
	921,396,183	851,461,826	69,934,357

貸借対照表内訳表

平成26年3月31日現在

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引消去	合 計
I 資産の部					
1. 流動資産					
現金預金	93,308,815	586,957	152,082,895		245,978,667
未収入金	112,208,800	0	0		112,208,800
立替金	0	0	88,725		88,725
前払費用	136,830	0	663,487		800,317
他会計債権	0	4,049,868	143,098,678	△147,148,546	0
流動資産合計	205,654,445	4,636,825	295,933,785	△147,148,546	359,076,509
2. 固定資産					
(1) 基本財産					
基本財産合計	0	0	0	△ 0	0
(2) 特定資産					
退職給付引当資産	32,643,414	132,988	5,582,833		38,359,235
看護会館取得資産	197,644,245	760,809	39,348,154		237,753,208
車両運搬具取得資産	6,500,000	0	0		6,500,000
記念事業積立資産	0	0	400,000		400,000
特定資産合計	236,787,659	893,797	45,330,987	△ 0	283,012,443
(3) その他固定資産					
建物	179,070,060	8,529,407	174,884,191		362,483,658
構築物	17,444,870	2,570,123	15,205,434		35,220,427
車両運搬具	12,473,700	6,774	282,548		12,763,022
什器備品	63,431,947	260,388	10,856,151		74,548,486
図書	30,372,552	0	0		30,372,552
リース資産	10,745,357	19,111	797,232		11,561,700
その他固定資産	78,227,827	32,245	1,345,027		79,605,099
減価償却累計額	△192,180,998	△ 8,353,062	△128,126,773		△328,660,833
電話加入権	993,923	4,509	188,058		1,186,490
保証金	92,147	418	17,435		110,000
リサイクル預託金	104,450	0	12,180		116,630
その他固定資産合計	200,775,835	3,069,913	75,461,483	△ 0	279,307,231
固定資産合計	437,563,494	3,963,710	120,792,470	△ 0	562,319,674
資産合計	643,217,939	8,600,535	416,726,255	△147,148,546	921,396,183
II 負債の部					
1. 流動負債					
未払金	0	0	31,500		31,500
リース債務	0	0	3,777,750		3,777,750
前受金	2,808,000	0	2,808,000		5,616,000
前受会費	61,293,000	0	61,293,000		122,586,000
預り金	780,064	0	684,264		1,464,328
他会計債務	147,148,546	0	0	△147,148,546	0
流動負債合計	212,029,610	0	68,594,514	△147,148,546	133,475,578
2. 固定負債					
役員退職慰労引当金	5,240,218	35,964	1,509,929		6,786,111
退職給付引当金	27,424,435	97,134	4,077,711		31,599,280
固定負債合計	32,664,653	133,098	5,587,640	△ 0	38,385,391
負債合計	244,694,263	133,098	74,182,154	△147,148,546	171,860,969
III 正味財産の部					
1. 指定正味財産					
指定正味財産合計	0	0	0	△ 0	0
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)	(△ 0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)	(△ 0)	(0)
2. 一般正味財産					
(うち基本財産への充当額)	398,523,676	8,467,437	342,544,101	△ 0	749,535,214
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)	(△ 0)	(0)
正味財産合計	(204,144,245)	(760,809)	(39,748,154)	(△ 0)	(244,653,208)
負債及び正味財産合計	398,523,676	8,467,437	342,544,101	△ 0	749,535,214
	643,217,939	8,600,535	416,726,255	△147,148,546	921,396,183

正味財産増減計算書

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	[366, 884]	[1, 261, 333]	[△ 894, 449]
特定資産受取利息	366, 884	1, 261, 333	△ 894, 449
受取入会金	[31, 406, 500]	[27, 060, 000]	[4, 346, 500]
受取入会金	31, 406, 500	27, 060, 000	4, 346, 500
受取会費	[144, 810, 000]	[138, 960, 000]	[5, 850, 000]
正会員受取会費	144, 810, 000	138, 960, 000	5, 850, 000
事業収益	[243, 716, 987]	[279, 575, 848]	[△ 35, 858, 861]
教育研修会参加料	50, 528, 300	47, 022, 360	3, 505, 940
看護職員の資質向上研修事業受託料	36, 717, 500	12, 667, 385	24, 050, 115
看護職員就労環境改善事業受託料	3, 417, 000	3, 300, 000	117, 000
介護職員等対象喀痰吸引研修事業受託料	20, 000, 000	41, 920, 000	△ 21, 920, 000
ナースセンター事業受託料	22, 812, 000	24, 270, 000	△ 1, 458, 000
ナースセンター会館管理受託料	6, 740, 000	5, 989, 000	751, 000
訪問看護推進事業受託料	34, 333, 000	77, 511, 000	△ 43, 178, 000
高齢者等見守支援事業受託料	0	6, 301, 649	△ 6, 301, 649
小児救急電話相談事業受託料	1, 092, 473	1, 210, 664	△ 118, 191
日本看護協会受託料	3, 375, 113	1, 771, 145	1, 603, 968
障害児等訪問看護師育成研修事業収入	0	450, 000	△ 450, 000
訪問看護療養費収益	47, 608, 060	41, 612, 645	5, 995, 415
基本利用料収益	4, 233, 066	3, 210, 252	1, 022, 814
その他の利用料収益	1, 382, 175	1, 049, 747	332, 428
治験収益	1, 474, 000	1, 958, 000	△ 484, 000
居宅介護支援事業収益	9, 115, 050	8, 682, 151	432, 899
雑収益	889, 250	649, 850	239, 400
受取補助金等	[92, 574, 270]	[12, 104, 310]	[80, 469, 960]
自殺予防対策事業	2, 880, 000	2, 650, 000	230, 000
日本看護協会助成金	9, 221, 270	9, 184, 310	36, 960
小規模訪問看護ステーション支援事業補助金	80, 473, 000	0	80, 473, 000
看護学生への禁煙モデル事業助成金	0	270, 000	△ 270, 000
雑収益	[3, 989, 453]	[3, 063, 474]	[925, 979]
受取利息	89, 573	107, 903	△ 18, 330
受取手数料	2, 302, 460	1, 621, 406	681, 054
雑収益	1, 597, 420	1, 334, 165	263, 255
経常収益計	516, 864, 094	462, 024, 965	54, 839, 129
(2) 経常費用			
事業費	[378, 328, 352]	[331, 902, 584]	[46, 425, 768]
役員報酬	20, 814, 314	21, 300, 560	△ 486, 246
給与手当	117, 906, 787	101, 221, 114	16, 685, 673
賞与	22, 841, 698	20, 204, 451	2, 637, 247
通勤手当	6, 068, 255	5, 153, 469	914, 786
役員退職慰労引当金繰入	1, 793, 747	0	1, 793, 747
退職給付費用	5, 699, 891	5, 047, 793	652, 098
福利厚生費	23, 886, 435	20, 225, 880	3, 660, 555
旅費交通費	5, 250, 961	5, 730, 948	△ 479, 987
通信運搬費	8, 554, 044	8, 179, 055	374, 989
減価償却費	13, 430, 974	9, 970, 050	3, 460, 924
消耗什器備品費	6, 936, 287	3, 634, 584	3, 301, 703
消耗品費	8, 493, 802	7, 883, 823	609, 979
修繕費	3, 016, 165	1, 806, 905	1, 209, 260
印刷製本費	17, 194, 194	18, 239, 199	△ 1, 045, 005
燃料費	587, 041	474, 897	112, 144
光熱水料費	5, 616, 698	4, 604, 876	1, 011, 822
賃借料	9, 182, 691	11, 492, 658	△ 2, 309, 967
保険料	1, 380, 255	1, 431, 888	△ 51, 633
諸謝金	48, 398, 366	44, 461, 528	3, 936, 838
租税公課	5, 320, 922	3, 755, 563	1, 565, 359

正味財産増減計算書

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
支払負担金	35,000	36,000	△ 1,000
看護材料購入費	280,388	179,877	100,511
管理諸費	10,977,774	11,376,765	△ 398,991
図書費	1,523,628	1,439,155	84,473
雑費	33,138,035	24,051,546	9,086,489
管理費	[73,943,377]	[59,702,461]	[14,240,916]
役員報酬	2,636,061	2,726,778	△ 90,717
給料手当	22,713,007	19,664,959	3,048,048
賞与	3,888,496	4,030,605	△ 142,109
通勤手当	1,453,384	1,216,247	237,137
役員退職慰労引当金繰入	513,336	0	513,336
退職給付費用	1,037,439	1,010,505	26,934
福利厚生費	5,236,200	4,295,066	941,134
旅費交通費	1,242,495	306,398	936,097
通信運搬費	2,473,951	1,241,617	1,232,334
減価償却費	4,623,690	5,063,619	△ 439,929
消耗什器備品費	186,872	205,732	△ 18,860
消耗品費	671,359	91,992	579,367
修繕費	1,623,101	518,295	1,104,806
印刷製本費	3,397,968	1,297,860	2,100,108
光熱水料費	2,594,263	2,294,242	300,021
賃借料	2,545,941	2,107,710	438,231
保険料	347,822	245,833	101,989
諸謝金	287,480	1,128,089	△ 840,609
租税公課	4,654,778	2,551,187	2,103,591
支払負担金	234,500	297,000	△ 62,500
管理諸費	4,766,427	5,092,106	△ 325,679
交際費	466,041	366,463	99,578
図書費	29,550	0	29,550
雑費	6,319,216	3,950,158	2,369,058
経常費用計	452,271,729	391,605,045	60,666,684
評価損益等調整前当期経常増減額	64,592,365	70,419,920	△ 5,827,555
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	64,592,365	70,419,920	△ 5,827,555
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固定資産売却益	[0]	[4,997]	[△ 4,997]
車両運搬具売却益	0	4,997	△ 4,997
経常外収益計	0	4,997	△ 4,997
(2) 経常外費用			
固定資産売却損	[0]	[4]	[△ 4]
車両運搬具売却損	0	4	△ 4
固定資産除却損	[3,394,270]	[4,798]	[3,389,472]
什器備品除却損	128,192	4,798	123,394
その他固定資産除却損	3,266,078	0	3,266,078
経常外費用計	3,394,270	4,802	3,389,468
当期経常外増減額	△ 3,394,270	195	△ 3,394,465
当期一般正味財産増減額	61,198,095	70,420,115	△ 9,222,020
一般正味財産期首残高	688,337,119	617,917,004	70,420,115
一般正味財産期末残高	749,535,214	688,337,119	61,198,095
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	749,535,214	688,337,119	61,198,095

正味財産増減計算書内訳表

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

(単位:円)

科目	公益目的事業会計	収益事業等会計				法人会計	内部取引消去	合計
		施設の貸与等事業	販売手数料及び出展広告料に関する事業	福利厚生等に関する事業	計			
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
特定資産運用益	[176,496]	[33]	[33]	[678]	[744]	[189,644]	[△ 0]	[366,884]
特定資産受取利息	176,496	33	33	678	744	189,644		366,884
受取入会金	[15,703,250]	[0]	[0]	[0]	[0]	[15,703,250]	[△ 0]	[31,406,500]
受取入会金	15,703,250	0	0	0	0	15,703,250		31,406,500
受取会費	[72,405,000]	[0]	[0]	[0]	[0]	[72,405,000]	[△ 0]	[144,810,000]
正会員受取会費	72,405,000	0	0	0	0	72,405,000		144,810,000
事業収益	[241,191,792]	[0]	[0]	[0]	[0]	[2,525,195]	[△ 0]	[243,716,987]
教育研修会参加料	50,528,300	0	0	0	0	0		50,528,300
看護職員の資質向上研修事業受託料	36,717,500	0	0	0	0	0		36,717,500
介護職員等対象研修事業受託料	20,000,000	0	0	0	0	0		20,000,000
看護職員就労環境改善事業受託料	3,417,000	0	0	0	0	0		3,417,000
ナースセンター事業受託料	22,812,000	0	0	0	0	0		22,812,000
ナースセンター会館管理受託料	6,740,000	0	0	0	0	0		6,740,000
訪問看護推進事業受託料	34,333,000	0	0	0	0	0		34,333,000
小児救急電話相談事業受託料	1,092,473	0	0	0	0	0		1,092,473
日本看護協会受託料	849,918	0	0	0	0	2,525,195		3,375,113
訪問看護療養費収益	47,608,060	0	0	0	0	0		47,608,060
基本利用料収益	4,233,066	0	0	0	0	0		4,233,066
その他の利用料収益	1,382,175	0	0	0	0	0		1,382,175
治験収益	1,474,000	0	0	0	0	0		1,474,000
居宅介護支援事業収益	9,115,050	0	0	0	0	0		9,115,050
雑収益	889,250	0	0	0	0	0		889,250
受取補助金等	[92,574,270]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[△ 0]	[92,574,270]
自殺予防対策事業	2,880,000	0	0	0	0	0		2,880,000
日本看護協会助成金	9,221,270	0	0	0	0	0		9,221,270
小規模訪問看護事業支援事業補助金	80,473,000	0	0	0	0	0		80,473,000
雑収益	[524,001]	[480,541]	[2,278,702]	[164,707]	[2,923,950]	[541,502]	[△ 0]	[3,989,453]
受取利息	40,257	459	0	0	459	48,857		89,573
受取手数料	23,840	0	2,278,620	0	2,278,620	0		2,302,460
雑収益	459,904	480,082	82	164,707	644,871	492,645		1,597,420
経常収益計	422,574,809	480,574	2,278,735	165,385	2,924,694	91,364,591	△ 0	516,864,094
(2) 経常費用								
事業費	[371,723,896]	[614,886]	[337,387]	[5,652,183]	[6,604,456]	[0]	[△ 0]	[378,328,352]
役員報酬	20,689,528	36,062	36,062	52,662	124,786			20,814,314
給与手当	117,425,342	56,640	56,640	368,165	481,445			117,906,787
賞与	22,759,276	9,696	9,696	63,030	82,422			22,841,698
通勤手当	6,033,637	5,225	5,225	24,168	34,618			6,068,255
役員退職慰労引当金繰入額	1,781,521	1,845	1,845	8,536	12,226			1,793,747
退職給付費用	5,675,180	3,730	3,730	17,251	24,711			5,699,891
福利厚生費	23,782,827	15,639	15,639	72,330	103,608			23,886,435
旅費交通費	5,250,961	0	0	0	0			5,250,961
通信運搬費	8,484,744	630	0	68,670	69,300			8,554,044
減価償却費	13,117,002	285,483	2,914	25,575	313,972			13,430,974
消耗什器備品費	6,931,808	707	707	3,065	4,479			6,936,287
消耗品費	8,479,278	2,293	2,293	9,938	14,524			8,493,802
修繕費	3,008,923	329	329	6,584	7,242			3,016,165
印刷製本費	17,194,194	0	0	0	0			17,194,194
燃料費	587,041	0	0	0	0			587,041
光熱水料費	5,605,122	526	526	10,524	11,576			5,616,698
賃借料	9,054,343	126,106	106	2,136	128,348			9,182,691
保険料	1,378,705	70	70	1,410	1,550			1,380,255
諸謝金	48,398,366	0	0	0	0			48,398,366
租税公課	5,032,486	68,942	200,642	18,852	288,436			5,320,922
支払負担金	35,000	0	0	0	0			35,000
看護材料購入費	280,388	0	0	0	0			280,388

正味財産増減計算書内訳表

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

(単位:円)

科目	公益目的事業会計	収益事業等会計				法人会計	内部取引消去	合計
		施設の貸与等事業	販売手数料及び出展広告料に関する事業	福利厚生等に 関する事業	計			
管理諸費	10,956,561	963	963	19,287	21,213			10,977,774
図書費	1,523,628	0	0	0	0			1,523,628
雑費	28,258,035	0	0	4,880,000	4,880,000			33,138,035
管理費	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[73,943,377]	[△ 0]	[73,943,377]
役員報酬					0	2,636,061		2,636,061
給料手当					0	22,713,007		22,713,007
賞与					0	3,888,496		3,888,496
通勤手当					0	1,453,384		1,453,384
役員退職慰労引当金繰入額					0	513,336		513,336
退職給付費用					0	1,037,439		1,037,439
福利厚生費					0	5,236,200		5,236,200
旅費交通費					0	1,242,495		1,242,495
通信運搬費					0	2,473,951		2,473,951
減価償却費					0	4,623,690		4,623,690
消耗什器備品費					0	186,872		186,872
消耗品費					0	671,359		671,359
修繕費					0	1,623,101		1,623,101
印刷製本費					0	3,397,968		3,397,968
光熱水料費					0	2,594,263		2,594,263
賃借料					0	2,545,941		2,545,941
保険料					0	347,822		347,822
諸謝金					0	287,480		287,480
租税公課					0	4,654,778		4,654,778
支払負担金					0	234,500		234,500
管理諸費					0	4,766,427		4,766,427
交際費					0	466,041		466,041
図書費					0	29,550		29,550
雑費					0	6,319,216		6,319,216
経常費用計	371,723,896	614,886	337,387	5,652,183	6,604,456	73,943,377	△ 0	452,271,729
評価損益等調整前当期経常増減額	50,850,913	△ 134,312	1,941,348	△ 5,486,798	△ 3,679,762	17,421,214	△ 0	64,592,365
基本財産評価損益等	0	0	0	0	0	0	△ 0	0
特定資産評価損益等	0	0	0	0	0	0	△ 0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	0	0	△ 0	0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	△ 0	0
当期経常増減額	50,850,913	△ 134,312	1,941,348	△ 5,486,798	△ 3,679,762	17,421,214	△ 0	64,592,365
2. 経常外増減の部								
(1) 経常外収益								
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	△ 0	0
(2) 経常外費用								
固定資産除却損	[2,845,133]	[2,029]	[2,029]	[8,796]	[12,854]	[536,283]	[△ 0]	[3,394,270]
什器備品除却損	109,137	70	70	305	445	18,610		128,192
その他固定資産除却損	2,735,996	1,959	1,959	8,491	12,409	517,673		3,266,078
経常外費用計	2,845,133	2,029	2,029	8,796	12,854	536,283	△ 0	3,394,270
当期経常外増減額	△ 2,845,133	△ 2,029	△ 2,029	△ 8,796	△ 12,854	△ 536,283	△ 0	△ 3,394,270
他会計振替額	900,000	0	△ 900,000	6,048,197	5,148,197	△ 6,048,197		0
当期一般正味財産増減額	48,905,780	△ 136,341	1,039,319	552,603	1,455,581	10,836,734	△ 0	61,198,095
一般正味財産期首残高	349,617,896	7,407,565	156,894	△ 552,603	7,011,856	331,707,367		688,337,119
一般正味財産期末残高	398,523,676	7,271,224	1,196,213	0	8,467,437	342,544,101	△ 0	749,535,214
II 指定正味財産増減の部								
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	△ 0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	△ 0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	△ 0	0
III 正味財産期末残高	398,523,676	7,271,224	1,196,213	0	8,467,437	342,544,101	△ 0	749,535,214

正味財産増減計算書内訳表（公益目的事業会計）

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計								合計
	看護職の資質向上事業	看護職確保・定着事業	訪問看護推進事業	健康・福祉増進事業	調査研究提言事業	訪問看護・居宅事業	その他本会の目的を達成する為に必要な事業	公益目的共通事業	
I 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
特定資産運用益	[123,497]	[4,576]	[6,135]	[3,965]	[2,135]	[33,239]	[2,949]	[0]	[△ 0] [176,496]
特定資産受取利息	123,497	4,576	6,135	3,965	2,135	33,239	2,949	0	176,496
受取入会金	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[15,703,250]	[△ 0] [15,703,250]
受取入会金	0	0	0	0	0	0	0	15,703,250	15,703,250
受取会費	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[72,405,000]	[△ 0] [72,405,000]
正会員受取会費	0	0	0	0	0	0	0	72,405,000	72,405,000
事業収益	[87,052,418]	[32,969,000]	[34,415,000]	[22,112,473]	[0]	[70,262,601]	[200,000]	[0]	[△ 5,819,700] [241,191,792]
教育研修会参加料	49,485,000	0	82,000	1,020,000	0	0	0	0	△ 58,700 50,528,300
看護職員の資質向上研修事業受託料	36,717,500	0	0	0	0	0	0	0	36,717,500
介護職員等対象喫痰吸引研修事業受託料	0	0	0	20,000,000	0	0	0	0	20,000,000
看護職員就労環境改善事業受託料	0	3,417,000	0	0	0	0	0	0	3,417,000
ナースセンター事業受託料	0	22,812,000	0	0	0	0	0	0	22,812,000
ナースセンター会館管理受託料	0	6,740,000	0	0	0	0	0	0	6,740,000
訪問看護推進事業受託料	0	0	34,333,000	0	0	0	0	0	34,333,000
小児救急電話相談事業受託料	0	0	0	1,092,473	0	0	0	0	1,092,473
日本看護協会受託料	849,918	0	0	0	0	0	0	0	849,918
訪問看護療養費収益	0	0	0	0	0	47,608,060	0	0	47,608,060
基本利用料収益	0	0	0	0	0	4,233,066	0	0	4,233,066
その他の利用料収益	0	0	0	0	0	1,382,175	0	0	1,382,175
治験収益	0	0	0	0	0	1,474,000	0	0	1,474,000
居宅介護支援事業収益	0	0	0	0	0	9,115,050	0	0	9,115,050
雑収益	0	0	0	0	0	6,450,250	200,000	0	△ 5,761,000 889,250
受取補助金等	[9,121,270]	[0]	[80,473,000]	[2,980,000]	[0]	[0]	[0]	[0]	[△ 0] [92,574,270]
自殺予防対策事業	0	0	0	2,880,000	0	0	0	0	2,880,000
日本看護協会助成金	9,121,270	0	0	100,000	0	0	0	0	9,221,270
小規模訪問看護マーチン支援事業補助金	0	0	80,473,000	0	0	0	0	0	80,473,000
雑収益	[337,917]	[11,188]	[15,001]	[39,697]	[5,220]	[70,056]	[7,686]	[37,236]	[△ 0] [524,001]
受取利息	621	0	0	0	0	1,924	476	37,236	40,257
受取手数料	23,840	0	0	0	0	0	0	0	23,840
雑収益	313,456	11,188	15,001	39,697	5,220	68,132	7,210	0	459,904
経常収益計	96,635,102	32,984,764	114,909,136	25,136,135	7,355	70,365,896	210,635	88,145,486	△ 5,819,700 422,574,809
(2) 経常費用									
事業費	[111,241,389]	[46,440,741]	[59,616,788]	[34,192,075]	[4,404,337]	[81,568,235]	[23,910,304]	[16,169,727]	[△ 5,819,700] [371,723,896]
役員報酬	4,936,779	3,570,804	2,445,941	2,655,159	692,806	2,976,146	1,611,893	1,800,000	20,689,528
給与手当	24,383,902	15,614,003	10,930,355	8,071,326	1,076,176	46,454,314	4,295,266	6,600,000	117,425,342
賞与	4,174,549	2,673,133	1,801,215	1,381,819	184,242	10,608,964	735,354	1,200,000	22,759,276
通勤手当	1,665,665	1,088,888	614,303	604,865	97,979	1,028,804	333,133	600,000	6,033,637
役員退職慰労引当金繰入額	588,305	384,589	248,886	213,635	34,605	13,841	117,660	180,000	1,781,521
退職給付費用	1,188,966	777,257	506,780	431,757	69,938	2,102,690	237,792	360,000	5,675,180
福利厚生費	4,985,016	3,258,831	1,834,173	1,810,243	293,234	8,830,028	997,002	1,800,000	△ 25,700 23,782,827

正味財産増減計算書内訳表（公益目的事業会計）

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計								合計
	看護職の資質向上事業	看護職確保・定着事業	訪問看護推進事業	健康・福祉増進事業	調査研究提言事業	訪問看護・居宅事業	その他会の目的を達成する為に必要な事業	公益目的共通事業	
旅費交通費	241,530	197,938	150,200	427,328	744,170	238,310	3,251,485	0	5,250,961
通信運搬費	1,878,010	1,776,272	1,550,069	903,202	220,703	808,580	1,347,908	0	8,484,744
減価償却費	4,169,418	358,100	2,993,622	2,532,455	89,313	912,767	198,708	1,862,619	13,117,002
消耗什器備品費	725,154	406,169	4,993,169	77,696	12,614	284,539	42,915	389,552	6,931,808
消耗品費	2,535,864	1,560,741	821,948	1,392,516	40,898	279,218	585,186	1,262,907	8,479,278
修繕費	1,199,374	916,544	59,589	38,519	20,741	732,675	28,642	12,839	3,008,923
印刷製本費	5,384,515	2,029,786	1,688,230	2,149,002	188,072	152,225	5,602,364	0	17,194,194
燃料費	0	0	0	0	0	587,041	0	0	587,041
光熱水料費	3,052,012	1,839,482	95,245	61,566	33,150	457,365	45,780	20,522	5,605,122
賃借料	2,297,420	1,808,111	299,683	2,959,884	6,729	1,257,807	420,544	4,165	9,054,343
保険料	293,461	16,132	12,768	204,253	4,443	838,761	6,136	2,751	1,378,705
諸謝金	28,695,170	2,964,845	10,023,790	5,148,332	391,760	0	1,233,469	0	△ 59,000 48,398,366
租税公課	3,470,927	113,489	232,611	130,285	59,383	905,524	83,506	36,761	5,032,486
支払負担金	0	0	0	0	0	35,000	0	0	35,000
看護材料購入費	0	0	0	0	0	280,388	0	0	280,388
管理諸費	4,238,085	3,518,853	835,002	112,832	60,754	1,248,365	905,059	37,611	10,956,561
図書費	1,015,488	31,833	216,961	259,346	0	0	0	0	1,523,628
雑費	10,121,779	1,534,941	17,262,248	2,626,055	82,627	534,883	1,830,502	0	△ 5,735,000 28,258,035
経常費用計	111,241,389	46,440,741	59,616,788	34,192,075	4,404,337	81,568,235	23,910,304	16,169,727	△ 5,819,700 371,723,896
評価損益等調整前当期 経常増減額	△ 14,606,287	△ 13,455,977	55,292,348	△ 9,055,940	△ 4,396,982	△ 11,202,339	△ 23,699,669	71,975,759	△ 0 50,850,913
基本財産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 14,606,287	△ 13,455,977	55,292,348	△ 9,055,940	△ 4,396,982	△ 11,202,339	△ 23,699,669	71,975,759	△ 0 50,850,913
2. 経常外増減の部									
(1) 経常外収益									
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用									
固定資産除却損	[614,779]	[401,617]	[448,649]	[222,970]	[36,202]	[997,759]	[123,157]	[0]	[△ 0] [2,845,133]
什器備品除却損	21,333	13,935	15,568	7,736	1,256	45,036	4,273	0	109,137
その他固定資産除却損	593,446	387,682	433,081	215,234	34,946	952,723	118,884	0	2,735,996
経常外費用計	614,779	401,617	448,649	222,970	36,202	997,759	123,157	0	△ 0 2,845,133
当期経常外増減額	△ 614,779	△ 401,617	△ 448,649	△ 222,970	△ 36,202	△ 997,759	△ 123,157	0	△ 0 △ 2,845,133
他会計振替額	0	0	0	0	0	0	0	900,000	900,000
当期一般正味財産 増減額	△ 15,221,066	△ 13,857,594	54,843,699	△ 9,278,910	△ 4,433,184	△ 12,200,098	△ 23,822,826	72,875,759	△ 0 48,905,780
一般正味財産期首残高								349,617,896	349,617,896
一般正味財産期末残高	△ 15,221,066	△ 13,857,594	54,843,699	△ 9,278,910	△ 4,433,184	△ 12,200,098	△ 23,822,826	422,493,655	△ 0 398,523,676
II 指定正味財産増減の部									
当期指定正味財産 増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高								0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	△ 15,221,066	△ 13,857,594	54,843,699	△ 9,278,910	△ 4,433,184	△ 12,200,098	△ 23,822,826	422,493,655	△ 0 398,523,676

正味財産増減計算書（予算対比）

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

(単位：円)

科目	予算額	決算額	差異	備考欄
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
特定資産運用益	[190,000]	[366,884]	[△ 176,884]	
特定資産受取利息	190,000	366,884	△ 176,884	
受取入会金	[31,454,000]	[31,406,500]	[47,500]	
受取入会金	31,454,000	31,406,500	47,500	
受取会費	[144,810,000]	[144,810,000]	[0]	
正会員受取会費	144,810,000	144,810,000	0	
事業収益	[250,728,000]	[243,716,987]	[7,011,013]	
教育研修会参加料	50,777,000	50,528,300	248,700	
看護職員の資質向上研修事業受託料	41,470,000	36,717,500	4,752,500	
介護職員等対象喀痰吸引研修事業受託料	20,000,000	20,000,000	0	
看護職員就労環境改善事業受託料	3,417,000	3,417,000	0	
ナースセンター事業受託料	22,812,000	22,812,000	0	
ナースセンター会館管理受託料	6,740,000	6,740,000	0	
訪問看護推進事業受託料	34,333,000	34,333,000	0	
小児救急電話相談事業受託料	1,263,000	1,092,473	170,527	
日本看護協会受託料	2,525,000	3,375,113	△ 850,113	
訪問看護療養費収益	44,820,000	47,608,060	△ 2,788,060	
基本利用料収益	3,983,000	4,233,066	△ 250,066	
その他の利用料収益	907,000	1,382,175	△ 475,175	
治験収益	1,200,000	1,474,000	△ 274,000	
居宅介護支援事業収益	9,000,000	9,115,050	△ 115,050	
雑収益	7,481,000	889,250	6,591,750	
受取補助金等	[92,574,000]	[92,574,270]	[△ 270]	
自殺予防対策事業	2,880,000	2,880,000	0	
日本看護協会助成金	9,221,000	9,221,270	△ 270	
小規模訪問看護マーケティング支援事業補助金	80,473,000	80,473,000	0	
雑収益	[2,988,000]	[3,989,453]	[△ 1,001,453]	
受取利息	111,000	89,573	21,427	
受取手数料	2,030,000	2,302,460	△ 272,460	
雑収益	847,000	1,597,420	△ 750,420	
経常収益計	522,744,000	516,864,094	5,879,906	
(2) 経常費用				
事業費	[435,410,000]	[378,328,352]	[57,081,648]	
役員報酬	21,346,000	20,814,314	531,686	
給与手当	119,085,000	117,906,787	1,178,213	
賞与	22,868,000	22,841,698	26,302	
通勤手当	6,237,000	6,068,255	168,745	
役員退職慰労引当金繰入額	1,787,000	1,793,747	△ 6,747	
退職給付費用	5,638,000	5,699,891	△ 61,891	
福利厚生費	24,816,000	23,886,435	929,565	
旅費交通費	4,803,000	5,250,961	△ 447,961	
通信運搬費	8,931,000	8,554,044	376,956	
減価償却費	12,230,000	13,430,974	△ 1,200,974	
消耗什器備品費	6,793,000	6,936,287	△ 143,287	
消耗品費	9,366,000	8,493,802	872,198	
修繕費	2,953,000	3,016,165	△ 63,165	
印刷製本費	17,752,000	17,194,194	557,806	
燃料費	537,000	587,041	△ 50,041	
光熱水料費	5,305,000	5,616,698	△ 311,698	
賃借料	8,945,000	9,182,691	△ 237,691	
保険料	1,268,000	1,380,255	△ 112,255	
諸謝金	46,844,000	48,398,366	△ 1,554,366	

正味財産増減計算書（予算対比）

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

(単位：円)

科目	予算額	決算額	差異	備考欄
租税公課	5,321,000	5,320,922	78	
支払負担金	190,000	35,000	155,000	
看護材料購入費	228,000	280,388	△ 52,388	
管理諸費	14,510,000	10,977,774	3,532,226	
図書費	1,242,000	1,523,628	△ 281,628	
雑費	86,415,000	33,138,035	53,276,965	
管理費	[74,995,000]	[73,943,377]	[1,051,623]	
役員報酬	2,737,000	2,636,061	100,939	
給料手当	23,108,000	22,713,007	394,993	
賞与	3,981,000	3,888,496	92,504	
通勤手当	1,473,000	1,453,384	19,616	
役員退職慰労引当金繰入額	513,000	513,336	△ 336	
退職給付費用	1,017,000	1,037,439	△ 20,439	
福利厚生費	5,152,000	5,236,200	△ 84,200	
旅費交通費	746,000	1,242,495	△ 496,495	
通信運搬費	2,557,000	2,473,951	83,049	
減価償却費	5,097,000	4,623,690	473,310	
消耗什器備品費	261,000	186,872	74,128	
消耗品費	589,000	671,359	△ 82,359	
修繕費	1,566,000	1,623,101	△ 57,101	
印刷製本費	4,145,000	3,397,968	747,032	
光熱水料費	2,532,000	2,594,263	△ 62,263	
賃借料	2,476,000	2,545,941	△ 69,941	
保険料	347,000	347,822	△ 822	
諸謝金	338,000	287,480	50,520	
租税公課	4,708,000	4,654,778	53,222	
支払負担金	408,000	234,500	173,500	
管理諸費	4,814,000	4,766,427	47,573	
交際費	400,000	466,041	△ 66,041	
図書費	30,000	29,550	450	
雑費	6,000,000	6,319,216	△ 319,216	
経常費用計	510,405,000	452,271,729	58,133,271	
評価損益等調整前当期経常増減額	12,339,000	64,592,365	△ 52,253,365	
基本財産評価損益等	0	0	0	
特定資産評価損益等	0	0	0	
投資有価証券評価損益等	0	0	0	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	12,339,000	64,592,365	△ 52,253,365	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
固定資産除却損	[0]	[3,394,270]	[△ 3,394,270]	
什器備品除却損	0	128,192	△ 128,192	
その他固定資産除却損	0	3,266,078	△ 3,266,078	
経常外費用計	0	3,394,270	△ 3,394,270	
当期経常外増減額	0	△ 3,394,270	3,394,270	
当期一般正味財産増減額	12,339,000	61,198,095	△ 48,859,095	
一般正味財産期首残高	688,337,119	688,337,119	0	
一般正味財産期末残高	700,676,119	749,535,214	△ 48,859,095	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高	700,676,119	749,535,214	△ 48,859,095	

財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記

継続事業の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況はない。

2. 重要な会計方針

「公益法人会計基準」(平成20年4月11日 平成21年10月16日改正 内閣府公益認定等委員会)を採用している。

1) 有価証券の評価基準及び評価方法

①満期保有目的の債券

償却原価法(定額法)によっている。

2) 固定資産の減価償却費の方法

(1)有形固定資産(リース資産を除く)

①建物

平成10年3月31日以前取得のものについては定率法により、

平成10年4月1日以降取得のものについては定額法によっている。(附属設備を除く)

②構築物、車両運搬具、什器備品、その他固定資産

定率法によっている。

(2)無形固定資産(リース資産を除く)

①その他固定資産

定額法によっている。

(3)リース資産

①所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている。

3) 引当金の計上基準

(1)役員退職慰労引当金

役員の退職給付に備えるため、当期末における退職給与の自己都合要支給額に相当する額を計上している。

当期より職員に対するものと区分して計上している。

(2)退職給付引当金

職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給与の自己都合要支給額に相当する額を計上している。

4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式によっている。

3. 表示方法の変更

(貸借対照表関係)

- 1) 固定資産の特定資産に計上されていた「看護会館取得資産」について今年度において当該取得計画及び公益目的事業会計をはじめとする各会計の負担割合の見直しを行った。
- 2) 従来、固定負債に計上されていた「退職給付引当金」について、より実態を適切に表示するために、当年度より役員分と職員分を、「役員退職慰労引当金」及び「退職給付引当金」に区分して表示している。

(資金収支計算書関係)

- 1) 上記「看護会館取得資産」における取得計画の見直しにより、今年度において前年度末の各会計の同資産の全額取崩を行い(=目的外取崩)、洗い替え金額を一括して積立ている。
尚、当該金額は内部取引消去欄で表示計上している。

4. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期首残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
退職給付引当資産	32,906,235	9,100,000	3,647,000	38,359,235
看護会館取得資産	212,866,145	(237,753,208)	(212,866,145)	237,753,208
車両運搬具取得資産	8,000,000	(注) 24,887,063	(注) 0	6,500,000
記念事業積立資産	0	400,000	0	400,000
合 計	253,772,380	34,887,063	5,647,000	283,012,443

(注) 今年度における本来の増加額及び減少額である。

財務諸表に対する注記

5. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応する額)
特定資産				
退職給付引当資産	38,359,235	0	0	38,359,235
看護会館取得資産	237,753,208	0	237,753,208	0
車両運搬具取得資産	6,500,000	0	6,500,000	0
記念事業積立資産	400,000	0	400,000	0
合 計	283,012,443	0	244,653,208	38,359,235

6. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
その他固定資産			
建物	362,483,658	△ 218,798,863	143,684,795
構築物	35,220,427	△ 29,455,901	5,764,526
車両運搬具	12,763,022	△ 10,789,847	1,973,175
什器備品	74,548,486	△ 61,441,002	13,107,484
図書	30,372,552	△ 0	30,372,552
リース資産	11,561,700	△ 4,110,557	7,451,143
その他固定資産	79,605,099	△ 4,064,663	75,540,436
合 計	606,554,944	△ 328,660,833	277,894,111

7. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額及び額面価額

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額及び額面価額は次のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	額面価額	差額
債券（看護会館取得資産）			
千葉県債24年度004回	49,990,000	50,000,000	10,000
債券（看護会館取得資産）			
千葉県債24年度004回	49,990,000	50,000,000	10,000
債券（看護会館取得資産）			
千葉県債24年度004回	49,990,000	50,000,000	10,000
合 計	149,970,000	150,000,000	30,000

財務諸表に対する注記

8. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	当期首残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
地域自殺対策緊急強化基金事業費補助金	千葉県	0	2,880,000	2,880,000	0	
小規模訪問看護ステーション支援事業補助金	千葉県	0	80,473,000	80,473,000	0	
助成金						
教育事業(研修)助成金	日本看護協会	0	9,121,270	9,121,270	0	
看護の普及啓発事業助成金	日本看護協会	0	100,000	100,000	0	
委託費						
看護教員養成講習会事業	千葉県	0	16,000,000	16,000,000	0	
中央研修 管理者クラス保健師研修会事業	千葉県	0	110,000	110,000	0	
地域在宅看護実習指導者講習会事業	千葉県	0	507,000	507,000	0	
実習指導者講習会事業	千葉県	0	3,794,000	3,794,000	0	
看護教員継続研修事業	千葉県	0	1,390,000	1,390,000	0	
中堅看護職員実務研修事業	千葉県	0	824,000	824,000	0	
新人看護職員定着促進事業	千葉県	0	3,736,000	3,736,000	0	
助産師外来講座事業	千葉県	0	824,000	824,000	0	
認知症専門職研修体系構築事業	千葉県	0	2,782,500	2,782,500	0	
精神・身体疾患併発患者診療機能支援事業	千葉県	0	6,750,000	6,750,000	0	
看護職員の就労環境改善事業	千葉県	0	3,417,000	3,417,000	0	
千葉県ナースセンター事業管理運営	千葉県	0	29,552,000	29,552,000	0	
訪問看護師人材育成事業	千葉県	0	28,688,000	28,688,000	0	
訪問看護に関する調査研究啓発事業	千葉県	0	1,540,000	1,540,000	0	
千葉県訪問看護推進事業	千葉県	0	4,105,000	4,105,000	0	
介護職員等対象の啓発吸引等研修事業	千葉県	0	20,000,000	20,000,000	0	
千葉県小児救急電話相談事業	日本看護協会	0	1,092,473	1,092,473	0	
会員登録事務業務	日本看護協会	0	1,805,465	1,805,465	0	
代議員選出に関する業務	日本看護協会	0	719,730	719,730	0	
助産師出向支援モデル事業	日本看護協会	0	849,918	849,918	0	
医療救護所設置・運用訓練参加	船橋市	0	200,000	200,000	0	
合計		0	221,261,356	221,261,356	0	

9. 関連当事者との取引の内容

該当なし

10. 重要な後発事象

該当なし

11. その他

1) リース取引関係

所有権移転外ファイナンス・リース取引

(1)リース資産の内容

その他固定資産

主として研修機材及び事務機器等の什器備品である。

(2)リース資産の減価償却の方法

重要な会計方針「2) 固定資産の減価償却費の方法」に記載のとおりである。

附属明細書

1. 特定資産の明細

財務諸表に対する注記「4. 特定資産の増減額及びその残高」に記載

2. 引当金の明細

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
役員退職慰労引当金	※ 4,479,028	2,307,083	0	0	6,786,111
退職給付引当金	28,508,950	6,737,330	3,647,000	0	31,599,280

※ 役員退職慰労引当金は、当年度より、退職給付引当金と区分して表示

前年度の計算書類においては、退職給付引当金に役員退職慰労引当金が含まれている。

財産目録

平成26年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金	手許現金	運転資金として	844,404
普通預金	千葉銀行 本店営業部	運転資金として	71,097,395
	千葉銀行 本店営業部	運転資金として	56,241,778
	千葉銀行 本店営業部	運転資金として	586,957
	千葉銀行 本店営業部	運転資金として	21,367,016
	千葉興業銀行 本店	運転資金として	9,685
	京葉銀行 本店	運転資金として	9,580
	千葉銀行 本店営業部	運転資金として	821,852
定期預金	千葉銀行 本店営業部		35,000,000
	千葉興業銀行 本店		30,000,000
未収入金	京葉銀行 本店		30,000,000
		訪問看護・居宅事業(公益目的事業)にかかるもの	11,026,300
		千葉県からの委託金	20,100,500
		千葉県からの補助金	80,473,000
		研修参加料その他未収入金	609,000
		職員の健康診断料自己負担分	88,725
立替金		翌年度以降相当分保険料他	800,317
前払費用			
流動資産合計			359,076,509
(固定資産)			
特定資産			
退職給付引当資産	千葉銀行 本店営業部 普通預金	役員・職員に対する退職金の支払に備えたもの	1,391,435
	千葉銀行 本店営業部 定期預金	役員・職員に対する退職金の支払に備えたもの	23,700,000
	千葉銀行 本店営業部 定期預金	役員・職員に対する退職金の支払に備えたもの	13,267,800
看護会館取得資金	千葉銀行 本店営業部 普通預金	看護会館本館及び別館の建替えに備えたもの	47,783,208
	千葉銀行 本店営業部 定期預金	看護会館本館及び別館の建替えに備えたもの	40,000,000
	千葉銀行 本店営業部 千葉県債(5年)	看護会館本館及び別館の建替えに備えたもの	149,970,000
車両運搬具取得資金	千葉銀行 本店営業部 定期預金	車両購入資金として	6,500,000
記念事業積立資金	千葉銀行 本店営業部 定期預金	40周年記念事業資金として	400,000
その他固定資産			
建物	会館(別館含む)および 本納建物	公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供している 減価償却累計額	179,070,060 △107,798,253
		収益事業等の用に供している 減価償却累計額	71,271,807 8,529,407 △ 5,722,173
		管理運営の用に供している 減価償却累計額	2,807,234 174,884,191 △105,278,437
構築物	看板工事等	公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供している 減価償却累計額	69,605,754 17,444,870 △ 14,531,478
		収益事業等の用に供している 減価償却累計額	2,913,392 2,570,123 △ 2,383,776
		管理運営の用に供している 減価償却累計額	186,347 15,205,434 △ 12,540,647
車両運搬具	訪問看護用車両12台 及び多目的車両1台	公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供している 減価償却累計額	2,664,787 12,473,700 △ 10,500,530
		収益事業等の用に供している 減価償却累計額	1,973,170 6,774 △ 6,771

財産目録

平成26年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
		管理運営の用に供している 減価償却累計額	3 282,548 △ 282,546
什器備品	看護会館内の 什器備品一式	公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供している 減価償却累計額	2 63,431,947 △ 51,835,967
		収益事業等の用に供している 減価償却累計額	11,595,980 260,388 △ 224,885
		管理運営の用に供している 減価償却累計額	35,503 10,856,151 △ 9,380,150
図書	書物一式	公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供している	1,476,001 30,372,552
リース資産	研修用機材 及び事務機器等	公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供している 減価償却累計額	10,745,357 △ 3,914,582
		収益事業等の用に供している 減価償却累計額	6,830,775 19,111 △ 4,585
		管理運営の用に供している 減価償却累計額	14,526 797,232 △ 191,390
その他固定資産	ソフトウェア・システム等	公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供している 減価償却累計額	605,842 78,227,827 △ 3,600,188
		収益事業等の用に供している 減価償却累計額	74,627,639 32,245 △ 10,872
		管理運営の用に供している 減価償却累計額	21,373 1,345,027 △ 453,603
その他固定資産			891,424
電話加入権	本館および別館 電話加入権	相談事業用電話 245-0008 他	1,186,490
保証金	警備保障契約保証金 駐車場賃借保証金		100,000 10,000
リサイクル預託金	訪問看護用車両12台 多目的車両1台	公益目的保有財産であり、公益目的事業の用に供している 管理運営の用に供している	104,450 12,180
固定資産合計			562,319,674
資産合計			921,396,183
(流動負債)			
未払金	機材等の購入費用	管理運営のために支出するもの	31,500
リース債務	コンピュータ等のリース料	公益目的事業のために支出するもの	3,777,750
前受金	平成26年度入会金	及び共通資産 公益目的事業および管理運営の支出に 供する入会金の前受分	5,616,000
前受会費	平成26年度年会費	公益目的事業および管理運営の支出に 供する会費の前受分	122,586,000
預り金	平成26年3月分源泉所得税 他		1,464,328
流動負債合計			133,475,578
(固定負債)			
役員退職慰労引当金	期末退職給付要支給額	役員に対する退職金の支払いに備えたもの	6,786,111
退職給付引当金	期末退職給付要支給額	職員に対する退職金の支払いに備えたもの	31,599,280
固定負債合計			38,385,391
負債合計			171,860,969
正味財産			749,535,214

資金収支計算書

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	収 益 事 業 等 会 計				法人会計	内部取引消去	合 計
		施設の貸与等事業	販売手数料及び出展広告料に関する事業	福利厚生等に関する事業	計			
I 事業活動収支の部								
1. 事業活動収入								
(1)特定資産運用収入	[176,496]	[33]	[33]	[678]	[744]	[189,644]	[△ 0]	[366,884]
特定資産利息収入	176,496	33	33	678	744	189,644		366,884
(2)入会金収入	[15,703,250]	[0]	[0]	[0]	[0]	[15,703,250]	[△ 0]	[31,406,500]
入会金収入	15,703,250	0	0	0	0	15,703,250		31,406,500
(3)会費収入	[72,405,000]	[0]	[0]	[0]	[0]	[72,405,000]	[△ 0]	[144,810,000]
正会員会費収入	72,405,000	0	0	0	0	72,405,000		144,810,000
(4)事業収入	[241,191,792]	[0]	[0]	[0]	[0]	[2,525,195]	[△ 0]	[243,716,987]
研修会参加料収入	50,528,300	0	0	0	0	0		50,528,300
看護職員の資質向上研修事業受託料収入	36,717,500	0	0	0	0	0		36,717,500
介護職員等対象略痕吸引研修事業受託料収入	20,000,000	0	0	0	0	0		20,000,000
看護職員就労環境改善事業受託料収入	3,417,000	0	0	0	0	0		3,417,000
ナースセンター事業受託料収入	22,812,000	0	0	0	0	0		22,812,000
ナースセンター会館管理受託料収入	6,740,000	0	0	0	0	0		6,740,000
訪問看護推進事業受託料収入	34,333,000	0	0	0	0	0		34,333,000
小児救急電話相談事業受託料収入	1,092,473	0	0	0	0	0		1,092,473
日本看護協会受託料収入	849,918	0	0	0	0	2,525,195		3,375,113
訪問看護療養費収入	47,608,060	0	0	0	0	0		47,608,060
基本利用料収入	4,233,066	0	0	0	0	0		4,233,066
その他の利用料収入	1,382,175	0	0	0	0	0		1,382,175
治験収入	1,474,000	0	0	0	0	0		1,474,000
居宅介護支援事業収入	9,115,050	0	0	0	0	0		9,115,050
雑収入	889,250	0	0	0	0	0		889,250
(5)補助金等収入	[92,574,270]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[△ 0]	[92,574,270]
自殺予防対策事業収入	2,880,000	0	0	0	0	0		2,880,000
日本看護協会助成金収入	9,221,270	0	0	0	0	0		9,221,270
研修助成金収入	80,473,000	0	0	0	0	0		80,473,000
(6)雑収入	[524,001]	[480,541]	[2,278,702]	[164,707]	[2,923,950]	[541,502]	[△ 0]	[3,989,453]
利息収入	40,257	459	0	0	459	48,857		89,573
手数料収入	23,840	0	2,278,620	0	2,278,620	0		2,302,460
雑収入	459,904	480,082	82	164,707	644,871	492,645		1,597,420
事業活動収入計	422,574,809	480,574	2,278,735	165,385	2,924,694	91,364,591	△ 0	516,864,094
2. 事業活動支出								
(1)事業費支出	[353,966,399]	[326,745]	[331,815]	[5,614,314]	[6,272,874]	[0]	[△ 0]	[360,239,273]
役員報酬支出	20,689,528	36,062	36,062	52,662	124,786			20,814,314
給与手当支出	117,425,342	56,640	56,640	368,165	481,445			117,906,787
賞与支出	22,759,276	9,696	9,696	63,030	82,422			22,841,698
通勤手当支出	6,033,637	5,225	5,225	24,168	34,618			6,068,255
退職金支出	2,816,206	2,917	2,917	13,493	19,327			2,835,533
福利厚生費支出	23,782,827	15,639	15,639	72,330	103,608			23,886,435
旅費交通費支出	5,250,961	0	0	0	0			5,250,961
通信運搬費支出	8,484,744	630	0	68,670	69,300			8,554,044
消耗什器備品費支出	6,931,808	707	707	3,065	4,479			6,936,287
消耗品費支出	8,479,278	2,293	2,293	9,938	14,524			8,493,802
修繕費支出	3,008,923	329	329	6,584	7,242			3,016,165
印刷製本費支出	17,194,194	0	0	0	0			17,194,194
燃料費支出	587,041	0	0	0	0			587,041
光熱水料費支出	5,605,122	526	526	10,524	11,576			5,616,698
賃借料支出	9,054,343	126,106	106	2,136	128,348			9,182,691
保険料支出	1,378,705	70	70	1,410	1,550			1,380,255
諸謝金支出	48,398,366	0	0	0	0			48,398,366
租税公課支出	5,032,486	68,942	200,642	18,852	288,436			5,320,922
負担金支出	35,000	0	0	0	0			35,000
看護材料購入費支出	280,388	0	0	0	0			280,388
管理諸費支出	10,956,561	963	963	19,287	21,213			10,977,774
図書費支出	1,523,628	0	0	0	0			1,523,628
雑支出	28,258,035	0	0	4,880,000	4,880,000			33,138,035
(2)管理費支出	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[68,580,379]	[△ 0]	[68,580,379]
役員報酬支出					0	2,636,061		2,636,061
給料手当支出					0	22,713,007		22,713,007

資金収支計算書

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	収 益 事 業 等 会 計				法人会計	内部取引消去	合 計
		施設の貸与等事業	販売手数料及び出展広告料に関する事業	福利厚生等に関する事業	計			
賞与支出					0	3,888,496		3,888,496
通勤手当支出					0	1,453,384		1,453,384
退職金支出					0	811,467		811,467
福利厚生費支出					0	5,236,200		5,236,200
旅費交通費支出					0	1,242,495		1,242,495
通信運搬費支出					0	2,473,951		2,473,951
消耗什器備品費支出					0	186,872		186,872
消耗品費支出					0	671,359		671,359
修繕費支出					0	1,623,101		1,623,101
印刷製本費支出					0	3,397,968		3,397,968
光熱水料費支出					0	2,594,263		2,594,263
賃借料支出					0	2,545,941		2,545,941
保険料支出					0	347,822		347,822
諸謝金支出					0	287,480		287,480
租税公課支出					0	4,654,778		4,654,778
負担金支出					0	234,500		234,500
管理諸費支出					0	4,766,427		4,766,427
交際費支出					0	466,041		466,041
図書費支出						29,550		29,550
雑支出					0	6,319,216		6,319,216
事業活動支出計	353,966,399	326,745	331,815	5,614,314	6,272,874	68,580,379	△ 0	428,819,652
他会計振替収支額調整前事業活動収支差額	68,608,410	153,829	1,946,920	△ 5,448,929	△ 3,348,180	22,784,212	△ 0	88,044,442
他会計振替収支額	900,000	0	△ 900,000	6,048,197	5,148,197	△ 6,048,197	0	0
事業活動収支差額	69,508,410	153,829	1,046,920	599,268	1,800,017	16,736,015	△ 0	88,044,442
II 投資活動収支の部								
1. 投資活動収入								
(1)特定資産取崩収入	[106,721,558]	[519,915]	[3,557]	[28,888]	[552,360]	[111,239,227]	[△ 212,866,145]	[5,647,000]
退職給付引当資産取崩収入	2,816,206	2,917	2,917	13,493	19,327	811,467		3,647,000
看護会館取得資金取崩収入	101,905,352	516,998	640	15,395	533,033	110,427,760	△ 212,866,145	0
車両運搬具取得資金取崩収入	2,000,000	0	0	0	0	0		2,000,000
(2)固定資産売却収入	[1]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[△ 0]	[1]
車両運搬具売却収入	1	0	0	0	0	0		1
(3)敷金・保証金戻り収入	[8,810]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[△ 0]	[8,810]
リサイクル預託金戻り収入	8,810	0	0	0	0	0		8,810
投資活動収入計	106,730,369	519,915	3,557	28,888	552,360	111,239,227	△ 212,866,145	5,655,811
2. 投資活動支出								
(1)特定資産取得支出	[205,649,645]	[766,409]	[5,600]	[25,900]	[797,909]	[41,305,654]	[△ 212,866,145]	[34,887,063]
退職給付引当資産取得支出	7,505,400	5,600	5,600	25,900	37,100	1,557,500		9,100,000
看護会館取得資金取得支出	197,644,245	760,809	0	0	760,809	39,348,154	△ 212,866,145	24,887,063
車両運搬具取得資金取得支出	500,000	0	0	0	0	0		500,000
記念事業積立資金取得支出	0	0	0	0	0	400,000		400,000
(2)固定資産取得支出	[83,098,803]	[9,375]	[9,375]	[46,091]	[64,841]	[4,103,392]	[△ 0]	[87,267,036]
構築物建設支出	1,759,726	348	348	6,972	7,668	1,718,606		[3,486,000]
車両運搬具購入支出	1,652,312	0	0	0	0	0		1,652,312
什器備品購入支出	9,196,479	5,600	5,600	24,268	35,468	1,479,418		10,711,365
図書購入支出	46,129	0	0	0	0	0		46,129
その他資産購入支出	70,444,157	3,427	3,427	14,851	21,705	905,368		71,371,230
(3)敷金・保証金支出	[17,120]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[△ 0]	[17,120]
リサイクル預託金支出	17,120	0	0	0	0	0		17,120
投資活動支出計	288,765,568	775,784	14,975	71,991	862,750	45,409,046	△ 212,866,145	122,171,219
投資活動収支差額	△ 182,035,199	△ 255,869	△ 11,418	△ 43,103	△ 310,390	65,830,181	△ 0	△ 116,515,408
III 財務活動収支の部								
1. 財務活動収入								
財務活動収入計	0	0	0	0	0	0	△ 0	0
2. 財務活動支出								
財務活動支出計	0	0	0	0	0	0	△ 0	0
財務活動収支差額	0	0	0	0	0	0	△ 0	0
当期収支差額	△ 112,526,789	△ 102,040	1,035,502	556,165	1,489,627	82,566,196	△ 0	△ 28,470,966
前期繰越収支差額	106,151,624	3,544,468	156,377	△ 553,647	3,147,198	144,773,075		254,071,897
次期繰越収支差額	△ 6,375,165	3,442,428	1,191,879	2,518	4,636,825	227,339,271	△ 0	225,600,931

資金収支計算書に対する注記

1. 資金収支計算書の作成方法

資金収支計算書は、「公益法人会計における内部管理事項について」（平成17年3月23日 公益法人等の指導監督等に関する関係省庁連絡会議監事申合せ）の規定事項及び「公益法人会計基準の運営指針」（平成20年4月11日 平成21年10月16日改正 内閣府公益認定等委員会）の様式を参考に作成している。

2. 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収入金、立替金、前払費用、仮払金、未払金、リース債務、前受金、前受会費、預り金及び仮受金を含めている。なお、前期末及び当期末残高は、下記3に記載のとおりである。

3. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現 金 預 金	328,493,210	245,978,667
未 収 入 金	54,745,446	112,208,800
立 替 金	0	88,725
前 払 費 用	969,970	800,317
合 計	384,208,626	359,076,509
未 払 金	1,856,992	31,500
リース債務	4,783,722	3,777,750
前 受 金	0	5,616,000
前 受 会 費	121,962,000	122,586,000
預 り 金	1,534,015	1,464,328
合 計	130,136,729	133,475,578
次 期 繰 越 収 支 差 額	254,071,897	225,600,931

独立監査人の監査報告書

平成 26 年 4 月 21 日

公益社団法人 千葉県看護協会

会長 松永 敏子 様

大嶋良弘公認会計士事務所

公認会計士 大嶋 良弘 

私は、公益社団法人千葉県看護協会の平成 25 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日までの平成 25 年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表(貸借対照表内訳表を含む。)、正味財産増減計算書(正味財産増減計算書内訳表を含む。)及び財務諸表に対する注記、附属明細書、財産目録および収支計算書について監査を行った。この財務諸表の作成責任は理事者にあり、私の責任は独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。

私は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、私に財務諸表に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めていた。監査は、試査を基礎として行われ、理事者が採用した会計方針及びその適用方法並びに理事者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することを含んでいる。私は、監査の結果として意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。

私は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準及び管理規約に準拠して、公益社団法人千葉県看護協会の平成 25 年度の収支の状況及び同年度末日現在の財政状態をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

公益社団法人千葉県看護協会と私との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

監査報告書

公益社団法人千葉県看護協会
会長 松永敏子様

平成 25 年度における公益社団法人千葉県看護協会の業務執行状況、公益目的事業会計、収益事業等会計、法人会計の管理、執行状況について監査を行ったので、その結果を報告する。

なお、監査は、第 1 回を平成 25 年 10 月 28 日に、第 2 回を平成 26 年 4 月 30 日に実施したものである。

監査の方法は次のとおりである。

- 1 業務に関する事項については、事業実績に関する調書、証拠書類・諸帳簿を資料として、会長(代表理事)及び業務執行理事から報告と説明を受け、関係書類を調査、閲覧し、業務執行状況を監査した。
- 2 会計に関する事項については、帳簿及び関係書類を調査、閲覧し、計算書により報告と説明を受け、また公認会計士からの報告を検証して、会計管理、執行状況を監査した。

監査意見

監査の結果、業務執行及び財産の管理について、正確かつ適正に処理されていることを認める。

平成 26 年 4 月 30 日

公益社団法人千葉県看護協会

監事 清水延郎

監事 小川久子

監事 石渕夏子

第2号議案 平成26年度役員及び推薦委員の選出について

- 1 定款第21条及び選挙運営規則第2条、役員の選任に関する規程第2条の規定により、本日の定時総会において平成26年度改選理事・監事及び推薦委員（以下、「役員等」という。）の選挙を執行し、この選挙結果をもって役員等を選任することとする。
- 2 選挙運営規則第7条の規定により選挙管理委員を指名する。

選挙（役員等候補者）

役員等（会長、副会長、常任理事、職能理事、監事）

選出数 1名 会長候補者数 1名

役職	推薦・立候補	氏名	職種	所属
会長	推薦	星野恵美子	看護師	公益社団法人千葉県看護協会

選出数 1名 副会長候補者数 1名

役職	推薦・立候補	氏名	職種	所属
副会長	推薦	石渡祥子	看護師	成田赤十字病院

選出数 2名 常任理事候補者数 2名

役職	推薦・立候補	氏名	職種	所属
常任理事	推薦	福留浩子	保健師	在宅
常任理事	推薦	橋野恭子	助産師	公益社団法人千葉県看護協会

選出数 1名 助産師職能理事候補者数 1名

役職	推薦・立候補	氏名	職種	所属
助産師職能理事	推薦	大澤豊子	助産師	帝京平成大学地域医療学部看護学科

選出数 1名 看護師職能理事候補者数 1名

役職	推薦・立候補	氏名	職種	所属
看護師職能理事	推薦	寺口恵子	看護師	東邦大学医療センター佐倉病院

選出数 1名 監事候補者数 1名

役職	推薦・立候補	氏名	職種	所属
監事	推薦	松永敏子	保健師	公益社団法人千葉県看護協会

役員等（理事、推薦委員）

選出数 6名 理事候補者数 6名

役職	推薦・立候補	氏名	職種	所属
理事	推薦	小暮美子	看護師	国保小見川総合病院
理事	推薦	伊藤恵美	看護師	公益財団法人日産厚生会佐倉厚生園病院
理事	推薦	谷口由紀子	看護師	医療法人社団鶴麟会在宅支援診療所若葉クリニックきりん会若葉訪問看護ステーション
理事	推薦	石井久美子	看護師	医療法人社団協友会柏厚生総合病院
理事	推薦	伊藤幸子	看護師	在宅
理事	推薦	高津さち子	准看護師	医療法人社団優仁会鈴木神経科病院

選出数 7名 推薦委員候補 8名

役職	推薦・立候補	氏名	職種	所属
推薦委員	推薦	福原祐子	保健師	市原健康福祉センター(市原保健所)
推薦委員	推薦	前田富士子	助産師	東邦大学医療センター佐倉病院
推薦委員	推薦	山賀好美	看護師	医療法人財団松圓会東葛クリニック病院
推薦委員	推薦	亀田日出子	看護師	千葉県精神科医療センター
推薦委員	推薦	今野弘子	看護師	独立行政法人国際病院機構下総精神医療センター
推薦委員	推薦	中島恵美子	看護師	医療法人社団誠馨会総泉病院
推薦委員	推薦	戸田順子	看護師	医療法人社団養真会上総記念病院
推薦委員	立候補	根本智永	看護師	医療法人財団東京勤労者医療会東葛病院

第3号議案 平成26年度(公社)千葉県看護協会スローガンについて

「看護の専門性と
職能団体としての力を発揮し、
県民の健康な生活を支えよう」

第4号議案 (公社)千葉県看護協会会費規程の改正について

(年度途中に他県から移動してきた会員の年会費の免除について)

千葉県看護協会会費規程第6条(改廃)により平成25年度第6回理事会において承認を得たので、以下の(案)のとおり改正することを提案する。

1 改正の趣旨

会員増促進委員会より、他県の状況を調査したところ、東京都をはじめとする近県では徴収していない県協会が多いことから、「他都道府県看護協会入会済みの会員が年度の途中で、千葉県看護協会に入会する場合に、これまで徴収していた年会費を、他の多くの看護協会同様に免除して年度中の入会を促し、翌年度以降の継続入会につなげる」という答申があったため、常任委員会設置運営規定第9条及び第10条により、以下の改正(案)のとおり本規程の改正を提案する。

2 千葉県看護協会会費規程改定(案)

現行規定	改正(案)
<p>第3条(会費) 会員となろうとする者は、次の会費(年額)を納入しなければならない。ただし、名誉会員についてはこの限りでない。</p> <p>正会員 6千円 個人賛助会員 3万円 団体(法人)賛助会員 1口 1万円</p> <p>2 正会員又は賛助会員が当該年度の会費で既に納入したものについては理由の如何を問わずこれを返還しないものとする。</p>	<p>第3条(会費) 会員となろうとする者は、次の会費(年額)を納入しなければならない。ただし、名誉会員についてはこの限りでない。</p> <p>正会員 6千円 個人賛助会員 3万円 団体(法人)賛助会員 1口 1万円</p> <p>2 正会員又は賛助会員が当該年度の会費で既に納入したものについては理由の如何を問わずこれを返還しないものとする。</p> <p>3 <u>当該年度に他都道府県看護協会に会費を納入済である者からは、当該年度の会費(年額)は徴収しない。</u></p>

※附則 一部改正 平成27年4月1日から施行する。(第3条第3項を追加)

※下線部分が改正箇所

第5号議案

平成27年度（公社）日本看護協会通常総会 出席代議員・予備代議員の選出について

平成27年度 日本看護協会代議員・予備代議員候補者

【代議員】

	選出区分	氏名	シメイ	職種	所 属	現/改・他
1	副 会 長	石 井 邦 子	イ シ イ ク ニ コ	助	千葉県立保健医療大学	現職
2	専 務 理 事	澤 田 いつ子	サ ワ ダ イ ツ コ	保	(公社)千葉県看護協会	現職
3	常任理事(候補者)	橋 野 恭 子	ハ シ ノ キ ョ ウ コ	助	(公社)千葉県看護協会	改選
4	(保)理 事	中 村 知 江	ナ カ ム ラ ト モ 工	保	松戸健康福祉センター	現職
5	(助)理 事(候補者)	大 澤 豊 子	オ オ サ ワ ト ヨ コ	助	帝京平成大学地域医療学部看護学科	改選
6	(看)理 事(候補者)	寺 口 恵 子	テ ラ グ チ ケ イ コ	看護	東邦大学医療センター佐倉病院	改選
7	理 事	大 矢 智 子	オ オ ヤ ノ リ コ	看	千葉県こども病院	現職
8	理 事(候補者)	高 津 さち子	タ カ ツ サ チ コ	准	鈴木神経科病院	改選
9		太 田 茂	オ オ タ シ ゲ ル	看	千葉東病院	地区部会
10	千 葉	千代田 操 子	チ ョ ダ ミ サ コ	看	千葉市立海浜病院	地区部会
11		今 野 弘 子	イ マ ノ ヒ ロ コ	看	下総精神医療センター	地区部会
12	市 原	茅 野 香 子	カ ヤ ノ コ ウ コ	看	千葉県循環器病センター	地区部会
13		岩 船 久 子	イ ワ フ ネ ヒ サ コ	看	千葉県済生会習志野病院	地区部会
14	船 橋	内 匠 伊 佐 子	タ ク ミ イ サ コ	看	船橋市立医療センター	地区部会
15		町 田 恵 子	マ チ ダ ケ イ コ	看	千葉徳洲会病院	地区部会
16	市 川	渡 辺 洋 子	ワ タ ナ ベ ヨ ウ コ	看	化学療法研究所附属病院	地区部会
17		鈴 木 美 智 子	ス ズ キ ミ チ コ	看	順天堂大学医学部附属浦安病院	地区部会
18	松 戸	齋 藤 洋 子	サ イ ト ウ ヨ ウ コ	看	国保松戸市立病院	地区部会
19	東 葛	石 渡 リ キ	イ シ ワ タ リ リ キ	看	小張総合病院	地区部会
20		加 藤 真 由 美	カ ト ウ マ ユ ミ	看	辻伸病院柏の葉	地区部会
21	印 膜	伊 藤 恵 美	イ ト ウ エ ミ	看	日産厚生会 佐倉厚生園病院	地区部会
22		丸 山 美 稔 子	マ ル ヤ マ ミ ホ コ	看	日本医科大学千葉北総病院	地区部会
23	利 根	加 藤 早 苗	カ ト ウ サ ナ エ	看	島田総合病院	地区部会
24	山 武	岩 澤 紀 子	イ ワ サ ワ ノ リ コ	看	さんむ医療センター	地区部会
25	長 夷	倉 津 与 之 美	ク ラ ツ ヨ シ ミ	看	穴倉病院	地区部会
26	君 津	齋 藤 み ち 子	サ イ ト ウ ミ チ コ	看	君津中央病院	地区部会
27	安 房	閑 口 友 子	セ キ グ チ ト モ コ	看	三芳病院	地区部会

【予備代議員】

	選出区分	氏名	シメイ	職種	所 属	現/改・他
1	副 会 長(候補者)	石 渡 祥 子	イ シ ワ タ リ シ ョ ウ コ	看	成田赤十字病院	改選
2	常任理事(候補者)	福 留 浩 子	フ ク ド メ ヒ ロ コ	保	在宅	改選
3	理 事	増 渕 美 恵 子	マ ス プ チ ミ エ コ	助	日本医科大学千葉北総病院	現職
4	理 事	鈴 木 真 奈 美	ス ズ キ マ ナ ミ	看	新東京クリニック分院	現職
5	監 事	石 渕 夏 子	イ シ ブ チ ナ ツ コ	助	船橋整形外科病院	現職
6	理 事(候補者)	小 暮 美 子	コ グ レ ヨ シ コ	看	国保小見川総合病院	改選
7	理 事(候補者)	石 井 久 美 子	イ シ イ ク ミ コ	看	柏厚生総合病院	改選
8	看護師職能委員	小 林 美 紀	コ バ ャ シ ミ キ	准	谷津保健病院	看護師職能委員
9	千 葉	中 村 勢 津 子	ナ カ ム ラ セ ツ コ	看	千葉医療センター附属千葉看護学校	地区部会
10		岸 部 友 美	キ シ ベ ト モ ミ	看	千葉療護センター	地区部会
11		横 土 由 美 子	ヨ コ ド ユ ミ コ	看	千葉県がんセンター	地区部会
12	市 原	小 賀 坂 好 子	コ ガ サ カ ヨ シ コ	保	帝京大学ちば総合医療センター	地区部会
13	船 橋	滝 口 恵 子	タ キ グ チ ケ イ コ	看	船橋中央病院	地区部会
14		伊 東 都	イ ト ウ ミ ャ コ	看	セコメディック病院	地区部会
15		本 田 瞳 子	ホ ナ ダ ム ツ コ	看	船橋二和病院	地区部会
16	市 川	阿 部 由 花	ア ベ ユ カ	看	市川市リハビリテーション病院	地区部会
17		渡 邊 一 枝	ワ タ ナ ベ カ ズ エ	看	順天堂大学医学部附属浦安病院	地区部会
18	松 戸	閑 口 明 美	セ キ グ チ ア ケ ミ	看	東松戸病院	地区部会
19	東 葛	旗 谷 晴 美	ハ タ ャ ハ ル ミ	看	流山中央病院	地区部会
20		大 下 照 子	オ オ シ タ テ ル コ	看	江陽台病院	地区部会
21	印 膜	綿 繩 真 砂 美	コ ウ ケ ツ マ サ ミ	看	佐倉中央病院	地区部会
22		内 田 菊 江	ウ チ ダ キ ク エ	看	成田赤十字病院	地区部会
23	利 根	青 木 和 代	ア オ キ カ ズ ヨ	看	九十九里ホーム病院	地区部会
24	山 武	松 本 幸 子	マ ツ モ ツ サ チ コ	看	大網病院	地区部会
25	長 夷	宮 嶋 里 美	ミ ャ ジ マ サ ト ミ	看	塙田病院	地区部会
26	君 津	板 倉 朋 子	イ タ ク ラ ト モ コ	看	袖ヶ浦さつき台病院	地区部会
27	安 房	河 上 み づ ほ	カ ワ カ ミ ミ ズ ホ	看	東条病院	地区部会

※保健師、助産師、准看護師を1名以上入れること

メモ

報 告 事 項

平成26年度 (公社) 千葉県看護協会事業計画及び収支予算について

平成26年度事業計画及び収支予算について理事会において承認されたので、報告する。

平成26年度 公益社団法人千葉県看護協会事業計画について

各事業の実施計画について報告する

重点項目

- 1 看護職が働き続けられる労働環境づくりの推進
- 2 安全で安心な専門性の高い看護を提供するための教育の充実
- 3 質の高い訪問看護ができる体制整備
- 4 統括的な役割を担う保健師の配置の推進と人材育成による機能強化
- 5 安全・安心な妊娠・出産・育児の環境・支援体制の整備

※項目は定款第4条の事業に基づき区分

項目	目的	事業	内容 (新規事業: ゴシック)	予算 (単位:千円)
① 教育・研修等による看護の質の向上に関する事業	県民に安全で安心な医療・看護を提供するために、職能団体の責任において、専門職としての生涯教育を提供し、看護職の資質の向上を図る。	1. 生涯教育 2. 助産師出向支援モデル事業 3. 千葉県看護研究会 4. 図書室の管理運営 5. 委員会の開催	(1)生涯教育 ①資格修得教育 ・医療安全管理者養成研修 ・認定看護管理者制度教育課程(ファースト・セカンドレベル教育課程) ・心肺蘇生法トレーニングコース(BLS) ・実習指導者講習会 ・訪問看護師養成講習会 ②ステップアップ研修 段階別ステップアップ研修(新人看護職員研修、2年目、中堅、管理者等) 領域別ステップアップ研修(感染、がん、認知症、災害等) ③看護実践教育 助産外来講座 自殺予防対策人材育成研修 (職場のメンタルヘルスとストレスマネジメント・うつ傾向患者の関わり方) 退院支援研修(訪問看護推進事業)等 (2)千葉県委託研修(再掲) ①新人看護師研修 ②新人助産師研修 ③実地指導者研修 ④新人看護職員研修責任者・教育担当者研修 ⑤中堅看護職員スキルアップ研修 ⑥助産外来講座 ⑦自殺予防対策人材育成研修 ⑧退院支援研修(訪問看護推進事業) ⑨介護職員等対象の喀痰吸引等に関する指導者研修 (1)助産師出向支援モデル事業 (1)第33回千葉県看護研究会 日 時: 平成27年2月20日(金) 場 所: アパホテル&リゾート東京ベイ幕張 (1)図書室の管理運営 (2)資料・文献検索の支援 (1)事業運営のための委員会の開催 ①教育委員会 ②第33回千葉県看護研究会実行委員会 ③認定看護管理者制度教育課程運営委員会 ④教育計画企画・評価プロジェクト委員会 ⑤助産師出向モデル事業協議会	公益目的事業会計
② 看護師等の労働環境等の改善、就業促進等による定着に関する事業	ワーク・ライフ・バランスを踏まえて、看護職が専門性を發揮し、働き続けられるための環境づくりを推進し、看護職の確保定着を図る。	1. 第3次千葉県看護職定着・確保推進計画の普及・推進 2. 看護職の労働環境の向上 3. 看護進路相談事業 4. ナースセンター事業 (千葉県委託)	(1)看護職定着・確保対策協議会の開催 (2)看護職定着・確保対策事業の普及啓発(再掲) ①「看護ちば」、ホームページ等による広報 ②各種協会事業を通した普及 (3)労働環境改善委員会の開催 (1)ワーク・ライフ・バランスの推進 ①WLB推進部会の開催 ②WLBワークショップ事業 ・事前研修会の開催 ・WLBワークショップの開催 新規3施設 既取組み施設13施設 ・WLBワークショップ、フォローアップの開催 ③評議会議の開催(取組3年目施設) ④インデックス調査(調査のみ参加施設等の支援) (2)看護職員の就労環境改善事業(千葉県委託) ①看護職員の就労環境改善事業I、II(研修) ②相談窓口開設事業 ③アドバイザー派遣事業 (1)出前授業(いのちの大切さ教育) (2)ふれあい看護体験事業 (3)進路相談事業 (1)看護職の定着・確保に係る実態調査 (2)看護職の無料職業紹介 (3)未就業看護職の就業支援 ①ハローワークにおける就業相談 ②看護職再就業講習会の開催 ③看護基礎技術講習会 ④合同就職説明会の開催 ⑤看護職への求人情報の提供	公益目的事業会計

項目	目的	事業	内容 (新規事業: ゴシック)	予算 (単位:千円)
② による看護師等の労働環境等の人材確保・定着に関する事業	ワーク・ライフ・バランスを踏まえて、看護職が専門性を發揮し、働き続けられるための環境づくりを推進し、看護職の確保定着を図る。	5. 医療・看護における安全対策	(4)ナースセンター事業の広報 (5)ナースセンター運営委員会の開催 (6)関係機関との連携（日本看護協会、中央ナースセンター、公共職業安定所等） (7)「看護の日」に知事表彰授与を県と共に催 (8)看護進路相談事業(再掲) (9)ナースセンターの維持管理 (1)医療・看護に関する相談支援、情報提供 (2)医療安全推進週間の推進 ①医療安全大会の開催 ②医療安全推進の普及啓発 ・医療安全に関する標語の募集 ・ポスター等による普及啓発 (3)医療安全管理者の育成 ①医療安全管理者養成研修会(再掲) ②医療安全担当者交流会 (4)関係機関等との連携促進 (5)医療安全委員会の開催 年6回	公益目的事業会計
			小計	45,993
③ 訪問看護の推進に関する事業	在宅医療の中核を担う訪問看護の質の向上を図り、安定的な供給を図る。	1. 訪問看護推進事業 (千葉県委託) 2. 訪問看護実践センター事業 (千葉県委託) (地域医療再生計画事業) 3. 関係機関との連携	(1)訪問看護推進協議会の開催 (2)訪問看護に関する総合相談の実施 (3)訪問看護の普及啓発事業 ①ケアマネージャーとの連携強化（地区単位：2箇所開催） ②訪問看護サービスの普及 ・リーフレットの改定 ・普及活動 (1)訪問看護師人材育成事業 ①訪問看護師育成事業 ・「新卒者等訪問看護師育成プログラム」に基づく人材育成支援事業 ・訪問看護師指導者研修会の開催 ・訪問看護師養成講習会「訪問看護研修ステップ1」の開催 ②訪問看護師スキルアップ研修会 ・質を高める研修会の開催 ・管理者研修の開催 ③退院支援研修会 (2)訪問看護ステーションIT化等推進事業 ①「千葉県看護協会版訪問看護ソフト」導入支援事業 ・「千葉県看護協会版訪問看護ソフト」の普及 ・「千葉県看護協会版訪問看護ソフト」の導入支援 ②「千葉県看護協会版訪問看護ソフト」オープン化事業 ・経営診断、シミュレーションシステム ③訪問看護に係るデータベース化事業 ・作業部会の設置（2回開催） ・データの収集 (3)訪問看護実践センター事業の普及啓発 ①訪問看護フォーラムの開催 (1)日本看護協会、訪問看護事業協会等との連携 (2)医師会、訪問看護ステーション連絡協議会等との連携	公益目的事業会計
			小計	30,628
④ 県民の健康・福祉の増進に関する事業	看護を通して、県民の健康の保持増進に寄与するとともに、看護への誓いを深める	1. 「看護の日」「看護週間」事業 2. 「まちの保健室」事業 3. 自殺予防対策 (千葉県補助事業) 4. たばこ対策事業	(1)第24回県民が集う「看護の日」事業 【テーマ】地域で輪となりつなげる看護 【月 日】平成26年5月17日（土） ①場 所 中央行事（千葉地区部会と共同開催） ：7F「ホル&リード東京ベイ幕張 地区部会行事：11地区部会 ②内 容 ・AED体験 ・乳がんモデルを使用した乳がん自己検診法 ・訪問看護等について ③実行委員会の開催（3回） (1)常設型の開催 ①地区部会：11地区部会 ②協 会：千葉三越 (2)イベント型の積極的な開催 (1)心の総合相談 ①専用電話・専用メールによる相談対応 ②自殺予防に関する広報 (2)人材育成研修の開催（再掲） ①「うつ傾向にある患者の早期発見と関わり方」（再掲） ②「職場のメンタルヘルスとストレスマネジメント」（再掲） (1)禁煙のための相談支援 (2)たばこに関する健康教育の普及啓発 ①普及啓発運営委員会の開催 年2回 ②看護学校への普及啓発 ・看護学生への「たばこに関する健康教育」出前授業 ・看護学生対象、地域住民等に対する健康教育活動 ③新人看護職への普及啓発 (3)禁煙支援者の育成（再掲）	公益目的事業会計

項目	目的	事業	内容 (新規事業: ゴシック)	予算 (単位:千円)
④ 県民の健康・福祉の増進に関する事業	看護を通して、県民の健康の保持増進に寄与するとともに、看護への誓いを深める	5. 千葉県小児救急電話相談事業 6. 災害支援対策事業 7. 関係機関・他団体への協力	(1)相談員の登録・管理 (2)相談員の勤務調整 (3)相談員研修会の開催 (4)小児救急電話相談事業協議会への出席 (1)災害支援ネットワークの強化 ①千葉県看護協会災害対策本部の設置 ②災害時における関係機関との連携 ・日本看護協会及び都道府県看護協会 ・千葉県、市町村 ③平常時における連携 ・県内施設、日本看護協会等合同防災訓練 ・九都県市合同防災訓練、市町村等訓練への参加 (2)災害に備えた支援体制の整備 ①災害支援ナースの登録促進 ②災害支援ナースの登録・管理 ③災害時の災害支援ナースの派遣調整 ④災害時必要物品の管理 (3)災害支援ナースの育成 ①災害看護研修(基礎編・実践編)(再掲) ②災害支援ナース更新要件研修、訓練等 (1)研修会等への講師紹介や派遣 (2)行事等への参加、必要時ボランティアの派遣	公益目的事業会計
⑤ 看護制度への提言等に関する調査研究、看護業務の開発及び	看護を取り巻く課題を明確にし、看護職の専門性や看護の発展に寄与する。	1. 職能委員会(職能) 2. 職能集会・交流会(職能) 3. 県行政等への要望・意見具申(看護制度) 4. 看護関連施策に対する提言(看護制度)	(1)保健師職能委員会 年6回 (2)助産師職能委員会 年6回 (3)看護師職能委員会 年6回 (1)三職能合同集会 (2)各職能別交流会 ①保健師交流会 ②助産師交流会(管理者、中堅) ③看護師交流会(領域Ⅰ、領域Ⅱ) ④准看護師交流会 (1)県の翌年度予算等に関する要望書の提出 (2)県議会等の活動への協力依頼等 (3)千葉県医療審議会等への参画 (1)国・日本看護協会等の要望・提言 (2)資格認定制度の推進 ①専門看護師、認定看護師への支援 ②専門看護師、認定看護師等の資格取得の促進	公益目的事業会計
⑥ 介護保険法に基づく指定居宅サービス・訪問看護の実施に関する事業並びに訪問看護の実施に関する事業	在宅療養者に質の高い訪問看護及び居宅介護支援を提供するとともに、訪問看護の普及啓発等を通して在宅療養者の環境づくりに寄与する。	1. 訪問看護事業 2. 居宅介護支援事業 3. 訪問看護の普及 4. 地域ニーズに応じた運営体制の整備 5. 医療機関・介護サービス事業所及び他職種との連携 6. 職員の資質の向上	(1)質の高い訪問看護の提供 (2)在宅ホスピス・医療ニーズの高い患者家族への支援 (3)24時間、緊急時の訪問看護体制の充実 (1)質の高いケアプランの提供 (2)地域のネットワークづくり (3)利用者の申請代行 (1)訪問看護研修生の受入れ (2)看護学生実習の受入れ (3)訪問看護実践センター事業への協力 (1)在宅ホスピス・医療ニーズの高い患者家族への支援 (2)サテライトの運営 (3)ちば訪問看護ステーション定例会議 月1回 (4)ちば訪問看護ステーション運営会議 年3回 (1)医療機関、介護支援専門員等との連携 ①地域の行事・交流会、連絡会への参加 (2)利用者確保のための広報活動 (1)事例検討会 (2)研修会・学会等への参加 (3)地域の行事・交流会、連絡会等への参加(再掲)	公益目的事業会計

項目	目的	事業	内容 (新規事業: ゴシック)	予算 (単位: 千円)
	県民の健康な生活の実現に貢献するために、地域の特性を考慮した看護の提供及び保健知識の普及を行う	1. 地区部会活動事業	(1)具体的な地区部会活動 ①役員会 年5回程度 ②連絡会 年2回程度 ③研修会 年3回 ④まちの保健室の開催（再掲） ⑤「看護の日」「看護週間」事業（再掲） ⑥その他、地域固有の事業 ・市町村及び関係機関との連携 地区開催のイベント事業等への協力 保健医療政策への提言 (2)看護職の就業協力員活動(再掲) (3)看護職定着確保対策の推進	公益目的事業会計
	情報提供及び広報を行う	1. 情報提供、広報事業	(1)千葉県看護協会の広報 ①機関誌「看護ちば」の発行 ②ホームページの充実 ③協会パンフレット等の活用 (2)県民に対する健康情報等の提供 (3)広報委員会の開催年5回	
			小 計	50,254
⑦ その他	当協会会員に対する相互扶助等の（福利厚生）事業を行う。	1. 会員サービス・福祉の充実	(1)会員への相談支援、情報提供 (2)看護職の表彰 (3)慶弔、病気見舞い (4)災害時の支援 (5)会員福利厚生サービスの推進	収益事業等会計
			小 計	4,949
この法人の目的を達成するためには必要な事業	県民の健康な生活の実現に貢献するために、公益社団法人としての組織運営を円滑・適正に行う。	1. 組織運営に関する会議等の開催 2. 会員増の促進 3. 公益社団法人に係る届出事務（千葉県知事等） 4. 日本看護協会との連携 5. 行政等との連携 6. 役員・職員の資質の向上と福利厚生 7. 看護会館の維持管理に関する事業	(1)総会 年1回 ①日時：平成26年6月18日(水) ②場所：ホテルポートプラザちば (2)理事会 年6回 (3)施設等会員代表者会 年2回以上 (4)地区部会長会 年3回 (5)保助看職能委員会 年6回程度 (6)推薦委員会 (7)常任委員会（再掲） 年6回程度 教育委員会 労働環境改善委員会 医療安全委員会 広報委員会 会員増促進委員会 (8)千葉県看護連盟との連携 (1)新規入会の促進 ①新人看護職の入会促進 ②未加入施設への入会促進 ③保健師・准看護師の入会促進 (2)継続会員への勧奨 (3)再入会者への入会促進 (4)会員増促進委員会の開催 年6回 (1)平成26年度事業計画・収支予算等の提出 (2)平成25年度定期報告（事業報告・決算報告等） (3)役員等の変更登記及び届出 (1)法人会員会・理事会 (2)職能委員長会 (3)日本看護協会通常総会代議員選出 (1)千葉県及び市町村主催の会議等への参画 (2)三師会、日本助産師会及び関係団体との連携 (3)関係団体の行事等への協賛・後援 (1)研修の実施 (2)健康診断 (1)看護会館の保全等 ①安全管理 ・火災、防災訓練 ・消防用設備等の点検 ・設備の整備、点検 ②環境整備 ・エコの積極的な取組み	法人会計
			小 計	69,821
			予 算 合 計	426,781

平成26年度 公益社団法人千葉県看護協会収支予算について

1 予算編成方針

平成24年度、新公益社団法人へ移行したことに伴い、予算の編成にあたっては、公益目的事業を重視し、事業計画を円滑かつ効率的に推進するため、限りある収入を効果的に活用することを旨に、重点事業を設定し、また個別事業ごとに事業の内容を精査し、経費を積算したうえで予算を編成したものである。

2 予算の作成方式

- (1) 法令により新公益法人制度に準拠した「20年会計基準」を適用しており、収支予算は、新基準に基づいた「損益ベース」の収支予算書で構成している。
＊「平成20年会計基準」 国の定める公益社団法人の標準会計方式（平成20年策定、施行）
- (2) 収支予算は、大きく「公益目的事業会計」、「収益事業等会計」、「法人会計（全体管理費）」の3つの会計区分として構成される。
- (3) 「公益目的事業会計」は、定款第4条（事業）の規定による7つの事業に区分している。
- (4) 「収益事業等会計」は、収益事業「施設の貸与等事業」「販売手数料及び出展広告料に関する事業」と、その他の事業（相互扶助（共益）事業）「会員福利厚生等に関する事業」に区分している。
- (5) 平成26年度予算は、公益社団法人の法定要件として求められる、次の財務三基準を考慮して作成し、これらの基準をクリアしている。
 - ① 公益目的事業に係る収入が事業実施に要する費用を超えないこと（収支相償の原則）
 - ② 公益目的事業比率が事業費全体の50%以上となるものであること（50%ルール）
 - ③ 遊休財産額（使途を定めない財産）が保有制限額を超えてないこと

3 予算の構成等

(1) 概況

① 全体予算の規模は、収益で427,469千円(対前年比82%)、

費用で426,781千円(対前年比84%)である。

前年度予算との比較において主な点は以下のとおりである。

イ) 資質向上(県)事業 : 41,603千円→26,370千円

看護教員養成研修事業(受託事業)の終了

ロ) 訪問看護実践センター事業等 : 118,671千円→30,628千円

・訪問看護師人材育成事業(受託)・・・継続

千葉県看護協会版訪問看護ソフトの開発終了等に伴う受託料・補助金減

ハ) 保健知識普及啓発事業 : 27,126千円→23,269千円

介護職員等対象喀痰吸引研修事業(受託)の規模縮小

② 費用内訳は、次のとおりである。

公益目的事業 352,011千円 (82.47%)

収益事業等 4,949千円 (1.16%)

法人会計 69,821千円 (16.37%)

計 426,781千円 (100.00%)

(2) 特記事項

① 受取入会金及び受取年会費については過去の会員数増加数をベースとして、入会数 2,500人、会員数 24,800人を見込み算定している。

② 受取入会金及び受取年会費については、制度上、原則として50%を「公益目的事業会計」に計上する必要がある等の理由から、「公益事業会計」と「共益事業・法人会計」に二分し、それぞれ50%を計上している。

ただし、実際の執行にあっては、法人会計から公益目的事業の費用も負担することとなる。

(入会金・年会費の50%だけを公益目的事業に用いるということではない。具体的に公益目的事業に配分する。)

③ 県等他団体からの受託・補助等事業については、見込額をもとに予算を計上しているものである。

平成26年度 収支予算書

平成26年度 収支予算

(単位：千円)

経常収益計	427,469
経常費用計	426,781
当期経常増減額	688
正味財産期首残高	700,676
正味財産期末残高	701,364

収益の部

(単位：千円)

会計区分	科目	予算額	前年度予算額	増減	構成比率
公益目的事業会計	受取入会金	15,000	15,727	△ 727	3.51%
	受取年会費	74,400	72,405	1,995	17.40%
	研修会参加料	47,217	50,777	△ 3,560	11.05%
	事業受託料 受 益	看護職員の資質向上研修事業受託料 (千葉県)	25,480	41,470	△ 15,990
		看護職員の就労環境改善事業受託料 (千葉県)	3,806	3,417	389
		ナースセンター事業受託料 (千葉県)	29,025	29,552	△ 527
		訪問看護推進事業等受託料 (千葉県)	14,260	34,333	△ 20,073
		小児救急電話相談事業受託料 (千葉県)	1,250	1,263	△ 13
		介護職員等対象喀痰吸引研修事業受託料 (千葉県)	13,172	20,000	△ 6,828
		小 計	86,993	130,035	△ 43,042
	受取補助金等	教育助成金 (日本看護協会)	9,121	9,121	0
		看護の普及啓発助成金 (日本看護協会)	100	100	0
		訪問看護実践センター事業補助金 (千葉県)	0	80,473	△ 80,473
		自殺予防対策事業補助金 (千葉県)	2,710	2,880	△ 170
		小 計	11,931	92,574	△ 80,643
	特定資産受取利息及び雑収益	558	358	200	0.13%
	訪問看護・居宅介護支援事業収益	96,504	67,393	29,111	22.58%
	公益目的事業 計	332,603	429,269	△ 96,666	77.81%
収益事業等会計	施設の貸与等事業	本納賃貸料	482	482	0
	販売手数料及び出展広告料に関する事業	看護の日広告料・医療安全大会協賛金等	2,001	2,001	0
	会員福利厚生等に関する事業	受取年会費 (法人会計より)・自販機管理手数料等	4,004	6,216	△ 2,212
		収益事業等 計	6,487	8,699	△ 2,212
法人会計	受取入会金	15,000	15,727	△ 727	3.51%
	受取年会費	70,532	66,327	4,205	16.50%
	会員管理受託料・総会代議員業務受託料 (日本看護協会)	2,650	2,525	125	0.62%
	特定資産受取利息及び雑収益	197	197	0	0.05%
	法人会計 計	88,379	84,776	3,603	20.67%
経常収益計		427,469	522,744	△ 95,275	100.00%

費用の部

(単位 : 千円)

会計区分	定款事業			予算額	前年度予算額	差額	構成比率
① 教育・研修等による看護の質の向上に関する事業	資質向上	生涯教育 千葉県看護研究学会 図書室の管理運営 委員会の開催	66,892	59,912	6,980	15.67%	
	資質向上(県)	千葉県委託研修	26,370	41,603	△ 15,233	6.18%	
		小計	93,262	101,515	△ 8,253	21.85%	
② 看護師等の労働環境等の改善、就業促進等により、看護師等の人材確保・定着に関する事業	看護職確保・定着事業	第3次千葉県看護職定着・確保推進計画の普及・推進	10,041	11,230	△ 1,189	2.35%	
		看護職の労働環境の向上					
		看護進路相談事業					
	ナースセンター事業(県)	ナースセンター事業(千葉県委託)	29,140	29,793	△ 653	6.83%	
	医療看護安全	医療・看護における安全対策	6,812	7,328	△ 516	1.60%	
		小計	45,993	48,351	△ 2,358	10.78%	
公益 目的事業 会計	訪問看護の推進に関する事業	訪問看護推進	訪問看護ステーションIT化等推進事業※訪問看護実践センター事業	16,313	3,595	12,718	3.82%
			訪問看護実践センター事業の普及啓発※訪問看護実践センター事業				
		関係機関との連携					
		訪問看護推進事業(千葉県委託)	14,315	115,076	△ 100,761	3.35%	
		訪問看護師人材育成事業(千葉県委託)※訪問看護実践センター事業					
		小計	30,628	118,671	△ 88,043	7.17%	
④ 県民への健康・福祉の増進に関する事業	保健知識普及啓発	「看護の日」「看護週間」事業	23,269	27,126	△ 3,857	5.44%	
		「まちの保健室」事業					
		自殺予防対策(千葉県補助事業)					
		たばこ対策事業					
		千葉県小児救急電話相談事業					
		介護職員等対象喀痰吸引研修事業(千葉県委託)					
		関係機関・他団体への協力					
⑤ 看護に関する調査研究、看護業務の開発及び看護制度への提言等に関する事業	職能	災害支援対策事業	4,810	6,517	△ 1,707	1.13%	
		関係機関・他団体への協力					
	看護制度	小計	28,079	33,643	△ 5,564	6.57%	
		県行政等への要望、意見具申	649	680	△ 31	0.15%	
		看護関連施策に対する提言					
		小計	5,754	5,670	84	1.35%	
⑥ 介護保険法に基づく指定居宅サービス・居宅介護支援に関する事業並びに健康保険法に基づく訪問看護に関する事業	訪問看護・居宅介護	訪問看護事業	98,041	80,826	17,215	22.97%	
		居宅介護支援事業					
		訪問看護の普及					
		地域ニーズに応じた運営体制の整備					
		医療機関・介護サービス事業所及び他職種との連携					
		職員の資質の向上					
⑦ その他、この法人の目的を達成するため必要な事業	地区部会	小計	98,041	80,826	17,215	22.97%	
		地区部会活動事業	10,994	11,378	△ 384	2.58%	
		情報提供、広報事業	13,952	11,417	2,535	3.27%	
	公益目的事業共通	各公益目的事業に係る共通経費	25,308	17,309	7,999	5.93%	
		小計	50,254	40,104	10,150	11.78%	
		公益目的事業 計	352,011	428,780	△ 76,769	82.47%	
収益事業等会計	施設の貸与等事業	施設の貸与等事業に伴う事業費	610	623	△ 13	0.14%	
	販売手数料及び出展広告料に関する事業	販売手数料及び出展広告料に関する事業に伴う事業費	335	344	△ 9	0.08%	
	会員福利厚生等に関する事業	会員福利厚生等に関する事業に伴う事業費	4,004	5,663	△ 1,659	0.94%	
		収益事業等 計	4,949	6,630	△ 1,681	1.16%	
法人会計	組織運営関係費(総会、理事会、会員増委員会 その他)			69,821	74,995	△ 5,174	16.37%
	その他一般管理費						
	法人会計 計			69,821	74,995	△ 5,174	16.37%
経常費用計				426,781	510,405	△ 83,624	100.00%

平成26年度予算 正味財産増減計算書

自 平成26年4月 1 日

至 平成27年3月31日

(単位：千円)

	公益目的 事業会計	収益事業等会計				法人会計	合計
		中計	施設貸与等	販売手数料等	会員福利厚生		
I 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
①特定資産運用益	280	1	1	1	3	107	390
特定資産受取利息	280	1	1	1	3	107	390
②受取入会金	15,000	0	0	0	0	15,000	30,000
受取入会金	15,000				0	15,000	30,000
③受取会費	74,400	0	0	3,868	3,868	70,532	148,800
正会員受取会費	74,400			3,868	3,868	70,532	148,800
④事業収益	230,712	0	0	0	0	2,650	233,362
イ) 研修会参加料	47,217	0	0	0	0	0	47,217
教育研修会参加料	47,217				0		47,217
ロ) 事業受託料収益	86,993	0	0	0	0	2,650	89,643
看護職員の資質向上研修事業受託料	25,480				0		25,480
介護職員等対象喀痰吸引研修事業受託料	13,172				0		13,172
看護職員の就労環境改善事業受託料	3,806				0		3,806
ナースセンター事業受託料	22,800				0		22,800
ナースセンター会館管理受託料	6,225				0		6,225
訪問看護推進事業受託料	4,260				0		4,260
訪問看護師人材育成事業受託料	10,000				0		10,000
小児救急電話相談事業受託料	1,250				0		1,250
日本看護協会受託料	0				0	2,650	2,650
ハ) 訪問看護・居宅介護支援事業収益	96,502	0	0	0	0	0	96,502
訪問看護療養費収益	76,188				0		76,188
基本利用料収益	5,880				0		5,880
その他の利用料収益（訪看）	1,932				0		1,932
治験収益	750				0		750
居宅介護支援事業収益	9,360				0		9,360
その他の利用料収益（居宅）	10				0		10
雑収益（訪問・居宅）	2,382				0		2,382
⑤受取補助金等	11,931	0	0	0	0	0	11,931
自殺予防対策事業（千葉県補助金）	2,710				0		2,710
日本看護協会助成金	9,221				0		9,221
看護学生への禁煙モデル事業助成金	0				0		0
⑥雑収益	280	481	2,000	135	2,616	90	2,986
受取利息	40	1			1	70	111
受取手数料	30		2,000		2,000		2,030
雑収益	210	480		135	615	20	845
経常収益計	332,603	482	2,001	4,004	6,487	88,379	427,469

平成26年度予算 正味財産増減計算書

自 平成26年4月 1 日

至 平成27年3月31日

(単位：千円)

	公益目的 事業会計	収益事業等会計				法人会計	合計
		中計	施設貸与等	販売手数料等	会員福利厚生		
(2) 経常費用							
役員報酬	21,148	36	36	54	126	2,724	23,998
給料手当	120,346	52	52	338	442	20,858	141,646
賞与	23,667	8	8	52	68	3,178	26,913
通勤手当	5,924	5	5	23	33	1,365	7,322
役員退職慰労引当金繰入額	1,549	2	2	7	11	446	2,006
退職給付費用	7,228	4	4	18	26	1,095	8,349
福利厚生費	25,627	15	15	70	100	5,017	30,744
旅費交通費	4,593				0	768	5,361
通信運搬費	7,568	1		68	69	2,642	10,279
減価償却費	24,411	284	4	29	317	4,638	29,366
消耗什器備品費	3,337	1	1	3	5	159	3,501
消耗品費	8,359	2	2	9	13	555	8,927
修繕費	2,100	1	1	5	7	1,338	3,445
印刷製本費	15,535				0	4,068	19,603
燃料費	553				0		553
光熱水料費	5,192	1	1	11	13	2,604	7,809
賃借料	8,306	127	1	2	130	2,522	10,958
保険料	1,401	1	1	2	4	504	1,909
諸謝金	34,014				0	380	34,394
租税公課	3,786	69	201	14	284	3,504	7,574
支払負担金	185				0	408	593
看護材料購入費	234				0		234
管理諸費	11,172	1	1	3,259	3,261	4,631	19,064
交際費	0				0	400	400
図書費	943				0	11	954
雑費 (その他の経費)	14,833			40	40	6,006	20,879
経常費用計	352,011	610	335	4,004	4,949	69,821	426,781
当期経常増減額	△ 19,408	△ 128	1,666	0	1,538	18,558	688
2. 経常外増減の部					0		0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用					0		0
什器備品除却損	0				0		0
車両運搬具売却損	0				0		0
その他固定資産除却損	0				0		0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	1,000		△ 1,000		△ 1,000		0
当期一般正味財産増減額	△ 18,408	△ 128	666	0	538	18,558	688
一般正味財産期首残高	351,107	7,267	814	0	8,081	341,488	700,676
一般正味財産期末残高	332,699	7,139	1,480	0	8,619	360,046	701,364
II 指定正味財産増減の部							
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	332,699	7,139	1,480	0	8,619	360,046	701,364

平成26年度 正味財産増減計算書 公益目的事業会計明細表(1)

自 平成26年4月 1日

至 平成27年3月31日

(単位：千円)

	公益目的事業会計						
	1 教育・研修等による看護の質の向上に関する事業		2 看護師等の労働環境等の改善、就業促進等により、看護師等の人材確保・定着に関する事業			3 訪問看護の推進に関する事業	
	資質向上	資質向上（県）	確保定着	ナースセンター	医療安全	訪看推進	訪看推進（県）
I 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
①特定資産運用益	0	0	0	0	0	0	0
特定資産受取利息							
②受取入会金	0	0	0	0	0	0	0
受取入会金							
③受取会費	0	0	0	0	0	0	0
正会員受取会費							
④事業収益	44,817	25,480	3,806	29,025	0	0	14,260
イ) 研修会参加料	44,817	0	0	0	0	0	0
教育研修会参加料	44,817						
ロ) 事業受託料収益	0	25,480	3,806	29,025	0	0	14,260
看護職員の資質向上研修事業受託料		25,480					
介護職員等対象喀痰吸引研修事業受託料							
看護職員の就労環境改善事業受託料			3,806				
ナースセンター事業受託料				22,800			
ナースセンター会館管理受託料					6,225		
訪問看護推進事業受託料							4,260
訪問看護師人材育成事業受託料							10,000
小児救急電話相談事業受託料							
日本看護協会受託料							
ハ) 訪問看護・居宅介護支援事業収益	0	0	0	0	0	0	0
訪問看護療養費収益							
基本利用料収益							
その他の利用料収益（訪問）							
治験収益							
居宅介護支援事業収益							
その他の利用料収益（居宅）							
雑収益（訪問・居宅）							
⑤受取補助金等	9,121	0	0	0	0	0	0
自殺予防対策事業（千葉県補助金）							
日本看護協会助成金	9,121						
看護学生への禁煙モデル事業助成金							
⑥雑収益	40	0	0	0	0	0	0
受取利息							
受取手数料	30						
雑収益	10						
経常収益計	53,978	25,480	3,806	29,025	0	0	14,260

公益目的事業会計											
4 県民への健康・福祉の増進に関する事業		5 看護に関する調査研究、看護業務の開発及び看護制度への提言等に関する事業		7 その他、この法人の目的を達成するために必要な事業			小計	6 介護保険法に基づく指定居宅サービス・居宅介護支援に関する事業並びに健康保険法に基づく訪問看護に関する事業(訪問看護ステーション)		小計	中計
保健知識	災害救護	職能	看護制度	地区部会	広報	共通		訪問看護	居宅介護		
0	0	0	0	0	0	280	280	0	0	0	280
						280	280			0	280
0	0	0	0	0	0	15,000	15,000	0	0	0	15,000
						15,000	15,000			0	15,000
0	0	0	0	0	0	74,400	74,400	0	0	0	74,400
						74,400	74,400			0	74,400
16,822	0	0	0	0	0	0	134,210	87,132	9,370	96,502	230,712
2,400	0	0	0	0	0	0	47,217	0	0	0	47,217
2,400							47,217			0	47,217
14,422	0	0	0	0	0	0	86,993	0	0	0	86,993
							25,480			0	25,480
13,172							13,172			0	13,172
							3,806			0	3,806
							22,800			0	22,800
							6,225			0	6,225
							4,260			0	4,260
							10,000			0	10,000
1,250							1,250			0	1,250
							0			0	0
0	0	0	0	0	0	0	87,132	9,370	96,502	96,502	
							0	76,188		76,188	76,188
							0	5,880		5,880	5,880
							0	1,932		1,932	1,932
							0	750		750	750
							0	0	9,360	9,360	9,360
							0	0	10	10	10
							0	2,382	0	2,382	2,382
2,810	0	0	0	0	0	0	11,931	0	0	0	11,931
2,710							2,710			0	2,710
100							9,221			0	9,221
							0			0	0
0	0	0	0	200	0	38	278	2	0	2	280
						38	38	2		2	40
							30			0	30
				200			210			0	210
19,632	0	0	0	200	0	89,718	236,099	87,134	9,370	96,504	332,603

平成26年度 正味財産増減計算書 公益目的事業会計明細表(2)

自 平成26年4月 1日

至 平成27年3月31日

(単位：千円)

	公益目的事業会計							
	1 教育・研修等による 看護の質の向上に關 する事業		2 看護師等の労働環境等の改善、 就業促進等により、看護師等の 人材確保・定着に関する事業			3 訪問看護の推進に關 する事業		
	資質向上	資質向上(県)	確保定着	ナースセンター	医療安全	訪看推進	訪看推進(県)	
(2) 経常費用								
役員報酬	4,394	644	2,197	778	659	323	3,994	
給料手当	13,238	9,155	2,489	10,359	1,491	485	853	
賞与	2,017	1,395	362	1,596	227	74	99	
通勤手当	983	581	207	694	122	45	75	
役員退職慰労引当金繰入額	321	190	185	109	40	15	358	
退職給付費用	789	466	455	268	98	36	879	
福利厚生費	3,054	1,804	560	2,236	379	139	162	
旅費交通費	50	176	12	159	110	212	122	
通信運搬費	1,069	1,160	26	1,458	295	228	573	
減価償却費	4,364	584	393		105	12,919	1,579	
消耗什器備品費	960	922	66		14	5	127	
消耗品費	1,855	894	317	1,024	130	153	577	
修繕費	909	80	15	200	11	8	41	
印刷製本費	3,618	1,381	267	1,372	470	310	630	
燃料費								
光熱水料費	1,769	457	30	2,200	21	15	80	
賃借料	1,540	82	6	1,855	1,300	123	136	
保険料	343	30	6		4	3	16	
諸謝金	13,889	5,372	2,177	1,284	1,071	334	3,646	
租税公課	2,372	208	40		28	21	120	
支払負担金								
看護材料購入費								
管理諸費	4,089	276	54	3,500	37	783	143	
交際費								
図書費	790	5	10	48			60	
雑費（その他の経費）	4,479	508	167		200	82	45	
経常費用計	66,892	26,370	10,041	29,140	6,812	16,313	14,315	
当期経常増減額	△ 12,914	△ 890	△ 6,235	△ 115	△ 6,812	△ 16,313	△ 55	
2. 経常外増減の部								
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	
他会計振替額（収益事業より）								
当期一般正味財産増減額	△ 12,914	△ 890	△ 6,235	△ 115	△ 6,812	△ 16,313	△ 55	
一般正味財産期首残高								
一般正味財産期末残高								
II 指定正味財産増減の部								
受取補助金等								
一般正味財産への振替額								
当期指定正味財産増減額								
指定正味財産期首残高								
指定正味財産期末残高								
III 正味財産期末残高								

公益目的事業会計											
4 県民への健康・福祉の増進に関する事業		5 看護に関する調査研究、看護業務の開発及び看護制度への提言等に関する事業		7 その他、この法人の目的を達成するために必要な事業			小計	6 介護保険法に基づく指定居宅サービス・居宅介護支援に関する事業並びに健康保険法に基づく訪問看護に関する事業(訪問看護ステーション)		小計	中計
保健知識	災害救護	職能	看護制度	地区部会	広報	共通		訪問看護	居宅介護		
2,074	617	351	346	634	997		18,008	2,309	831	3,140	21,148
5,496	1,916	928	61	1,916	2,029	14,760	65,176	43,503	11,667	55,170	120,346
837	292	141	9	292	309	2,280	9,930	10,834	2,903	13,737	23,667
424	144	72	20	145	167	1,020	4,699	959	266	1,225	5,924
139	47	24	6	48	55		1,537	7	5	12	1,549
340	116	58	16	117	134		3,772	2,720	736	3,456	7,228
1,316	448	225	61	451	520	3,240	14,595	8,678	2,354	11,032	25,627
667	50	1,100	4	1,770			4,432	127	34	161	4,593
569	38	300	10	52	653		6,431	908	229	1,137	7,568
320	481	73	33	128	132	2,416	23,527	697	187	884	24,411
70	17	8	2	17	20	331	2,559	778		778	3,337
1,064	404	29	8	419	76	1,156	8,106	236	17	253	8,359
21	11	10	7	13	10	11	1,347	590	163	753	2,100
1,633	46	1,000	2	144	4,500		15,373	128	34	162	15,535
							0	436	117	553	553
40	22	19	14	26	20	21	4,734	354	104	458	5,192
1,406	4	104	3	451	4	4	7,018	1,243	45	1,288	8,306
134	4	4	3	5	4	4	560	662	179	841	1,401
4,900	60	500		187	594		34,014			0	34,014
55	29	25	19	35	27	28	3,007	615	164	779	3,786
150							150	28	7	35	185
							0	234		234	234
71	39	34	25	219	866	37	10,173	774	225	999	11,172
							0			0	0
30							943			0	943
1,513	25	100		3,925	2,835		13,879	926	28	954	14,833
23,269	4,810	5,105	649	10,994	13,952	25,308	253,970	77,746	20,295	98,041	352,011
△ 3,637	△ 4,810	△ 5,105	△ 649	△ 10,794	△ 13,952	64,410	△ 17,871	9,388	△ 10,925	△ 1,537	△ 19,408
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
						1,000	1,000			0	1,000
△ 3,637	△ 4,810	△ 5,105	△ 649	△ 10,794	△ 13,952	65,410	△ 16,871	9,388	△ 10,925	△ 1,537	△ 18,408
							342,086			9,021	351,107
							325,215			7,484	332,699
							0			0	
							0			0	
							0			0	
							325,215			7,484	332,699

平成26年度予算 資金調達及び設備投資の見込みについて

1) 資金調達の見込みについて

借入れの予定		□あり	■なし
事業番号	借入先	金額	
		円	

2) 設備投資の見込みについて

設備投資の予定		■あり	□なし
事業番号	設備投資の内容	支出又は収入の 予定額	資金調達方法 又は取得資金の使途
公益事業 会計 (公1)	災害支援ナースシステム 機能強化	2,000,000円	自己資金